

名前

小学校社会科副読本 のぼりべつ 3・4年生

登別市教育委員会

## 小学校社会科副読本

# のぼりべつ

登別市教育委員会



3・4年生



登別市章

(昭和36年10月1日制定)



力強く伸びる市の将来を表現したもので、登別の頭文字「の」を単純かつ明瞭化し、円内左右の空間は市勢伸長の二大基礎である工業、観光の意義を含め、中心の長三角形は限りなく躍進する登別の発展を願ったものです。

#### 登別市民憲章 (昭和43年9月20日制定)

わたしたちは 古い歴史と美しい自然に恵まれた登別の市民です  
ここに わたしたちの心がまえを定めてよりよいまちをつくるこ  
とに努めます

1 心身をきたえよく働いて 活気あふれる豊かなまちをつくりましょう

1 親切をつくし きまりを守って 明るく住みよいまちをつくりましょう

1 自然を愛し 力をあわせて 緑と空気と太陽のいっぱいあるきれいなまちを  
つくりましょう

1 未来をつくる青少年の 健全な夢の育つまちをつくりましょう

1 教養をつみ 視野を広げて 平和で文化のかおり高いまちをつくりましょう

#### 市木・市花木・市花 (昭和47年12月28日制定)



市木 プラタナス



市花木 ツツジ



市花 キク

#### 社会科副読本編集委員会名簿

●委員長 中村 完 (鶩別小学校校長)

●事務局長 南 正彦 (富岸小学校教頭)

●編集委員 丸石伸幸 (幌別小学校教諭)

江守武史 (幌別西小学校教諭)

氏家野富美 (幌別東小学校教諭)

谷口裕治 (青葉小学校教諭)

渡邊喜久 (鶩別小学校教諭)

西山聖太 (若草小学校教諭)

菊池康裕 (登別小学校教諭)

栗田由実 (富岸小学校教諭)

街道重昭 (登別市文化財審議会委員長)

●監修 中島英治 (登別市教育委員会教育部参与)

小野島晶 (登別市教育委員会教育部学校教育グループ学務主幹)

進藤璃重 (登別市教育委員会教育部学校教育グループ)

戸田一路 (登別市教育委員会教育部学校教育グループ)

菅野修広 (登別市教育委員会教育部社会教育グループ文化・文化財主幹)

平塚理子 (登別市教育委員会教育部社会教育グループ)

(※役職は令和2年3月現在)

各関係機関及び関係者の御指導・御協力に深く感謝いたします。

#### のぼりべつ

昭和36年6月 発行 平成16年3月 改訂版発行

昭和39年4月 改訂版発行 平成24年3月 改訂版発行

昭和56年9月 改訂版発行 令和2年3月 改訂版発行

平成7年3月 改訂版発行

編集 登別市社会科副読本編集委員会

発行 登別市教育委員会

印刷 (有)デザインワーク・エーチ

# もくじ

## <3年生>

1 もっと知りたい みんなのまち	1
1. わたしたちのまちはどんなまち	3
2. まちから市へ広げよう	13

2 はたらく人とわたしたちのくらし	29
-------------------	----

1. 店ではたらく人と仕事	30
2. コンクリート工場ではたらく人と仕事	42
3. ここは温泉のまち	49

3 地いきの安全を守る	57
-------------	----

1. 火事からまちを守る	57
2. 事故や事件からまちを守る	65

4 登別市の歩み	71
----------	----

1. 昔の道具とくらし	71
2. 登別市のうつり変わり	75

## <4年生>

5 北海道の地図を広げて	77
--------------	----

1. 北海道の地域と方角	77
2. 北海道の形と、わたしたちのまちの位置	78
3. 北海道の土地の様子	79
4. 北海道の農産物・水産物	81
5. 北海道の工業と働く人	82
6. 北海道の交通	83
7. 北方領土	84
8. まとめ	84

6 健康なくらしとまちづくり	85
----------------	----

1. ごみはどこへ	85
2. 水はどこから	95

7 自然災害にそなえるまちづくり	107
------------------	-----

1. 地震・津波にそなえるまちづくり	107
--------------------	-----

8 地域で受けつかれてきたもの	117
-----------------	-----

1. わたしたちのまちのまつり	118
2. まちに伝わる昔	121

9 昔から今に続くまちづくり	125
----------------	-----

1. アイヌ民族の歴史	125
2. 本州からのい住の歴史	131

10 わたしたちの北海道とまちづくり	137
--------------------	-----

1. 豊かな食材を生かしたまちづくり	139
2. 街並みを生かしたまちづくり	141
3. 国際交流がさかんなまちづくり	143

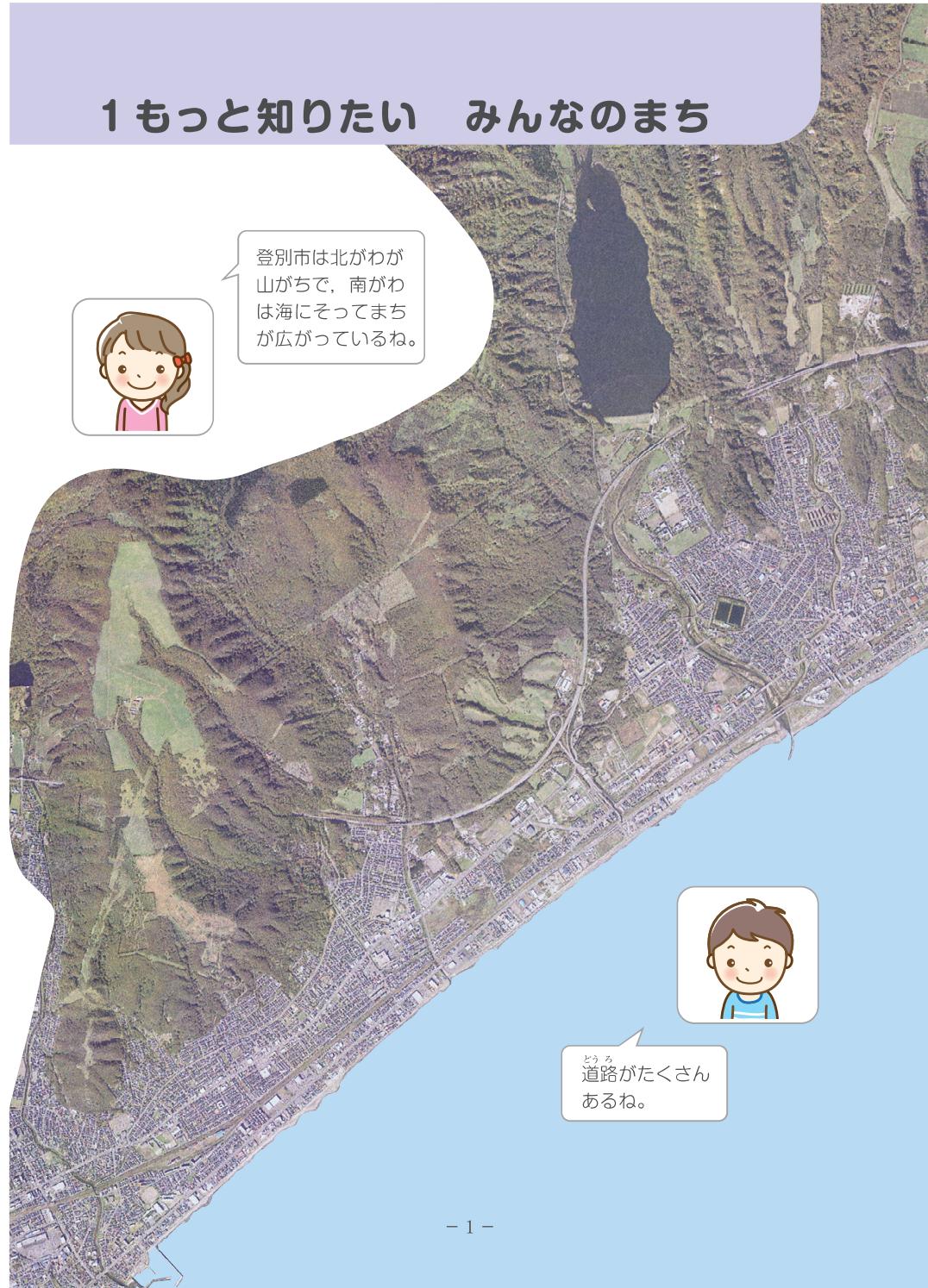
# 1 もっと知りたい みんなのまち



登別市は北がわが山がちで、南がわは海にそってまちが広がっているね。



どうろ  
道路がたくさんあるね。



↑登別温泉地区

わたしたちの住んでいるまちは、どんなところなのでしょうか。高いところから市全体の様子を見てみましょう。

海や山、住たくやお店、工場などが見えます。もっとくわしく見ると、住たくが集まっているところ、お店がたくさんあるところ、工場が多いところなど、場所によって建物の様子がちがうことがわかります。

他にも、登別市には、様子のちがういろいろなところがありそうです。わたしたちが住むまちはどんなところなのか調べてみましょう。

# 1. わたしたちのまちはどんなまち

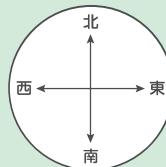
## (1) まちを見わたそう

### わたしたちのまちの様子はどのようにになっているのだろう

わたしたちの学校のまわりには、どんなものがあるのでしょうか。学校の屋上に上がってまちの様子を見てみましょう。

屋上から見ると、それぞれの方向で目立つものを見つけました。正かくな方位を知りたいときには、方位じしんを使って調べます。

幌別小学校の屋上からの様子



①方位じしん

屋上から見ただけでは、正しい場所などがわかりにくいものもあります。そこで、まちの様子をもっとくわしく調べるために、まちたんけんに出かけることにしましょう。

## (2) まちたんけんの計画を立てよう

### たんけんの計画を話し合って決めよう

たんけんする前に、決めておくことやじゅんびしておくことを考えましょう。まちの様子を調べる前に、学校のまわりの地図を見ながらたんけんするコースや調べてくることなどを話し合い、たんけんの計画を立てましょう。

### たんけんの前に決めておくこと、やくそく

#### ①たんけんのコース

月 日 ( )

- 東コース  
学校 → → →  
→ → 学校
- 月 日 ( )
- 西コース  
学校 → → →  
→ → 学校

#### ②持ち物

- 地図
  - たんけんノート
  - 筆記用具
  - たんけんボード
- (グループで)
- カメラ
  - 時計



わたしたちのまちにはどんなものがあるのかな。

#### ③調べてること

- 建物や場所の様子
- まちの人たちの様子
- 道路や駅の様子
- 店の場所や様子
- 気づいたこと
- わかったこと
- ふしぎに思ったこと
- おどろいたこと

#### ④建物のマーク

建物のマークを地図に書きこむと便利です。  
(例)

	学校
	店
	住たく
	寺
	しせつ
	その他の建物

#### ⑤やくそく

- 交通のきまりを守る。
- まちの人にめいわくをかけない。
- ものをたずねるときは言葉づかいに気をつける。
- 大きな声でさわがない。

### (3) たんけんしよう

#### 学校のまわりにはどんなものがあるのだろう

##### 東コース

学校の東がわには、鉄南ふれあいセンターの建物があります。ここでは、市民がいろいろな集まりをひらいたり交流を深めたりしています。

また、さらに東がわに行くと国道36号があり、国道をわたると太平洋が広がっています。クリンクルセンターや市民プール（らくあ）もあります。



↑鉄南ふれあいセンター



↑クリンクルセンター

##### 西コース

学校の西がわは、たくさんの家がたちならぶ住たく地になっています。さらに西の山がわに進むと高速道路があり、車が行き来しています。他に、市民会館や総合福祉センター(しんた21), 郷土資料館などのしせつがあります。



↑住たく地



↑郷土資料館

##### 北コース

学校の北がわには、陸上競技場があり、そのとなりに幌別中学校があります。学校給食センターもあり、わたしたちの給食が作られています。まわりには、住たくや団地などがたちならんでいます。



↑幌別中学校



↑給食センター



↑陸上競技場

##### 南コース

学校のすぐ南がわには、市役所や消防署があります。さらに南がわに行くと、大きなお店や銀行、商店街、飲食店などがあり、たくさんの人や車が行きかっています。すぐ近くには幌別駅や郵便局があり、人々の暮らしに役立つ建物がならんでいます。



↑幌別市役所



↑幌別駅

## (4) みんなが利用するしせつ

### 学校のまわりにはどのようなしせつがあるのだろう

登別市には、暮らしをよくするためのしせつがたくさんあり、まちの人たちがいろいろなことに利用しています。

学校や家のまわりには、どのような公共しせつがあるのでしょうか。また、そこはどんなことをするところでしょうか。<sup>しらべ</sup>調べてみましょう。

#### こうきょう 公共しせつ

まちに住む人たちの暮らしのために、市で計画してつくられたしせつ。



かめだきねんこうえん  
↑亀田記念公園



おかしべつもりうんどうこうえん  
↑岡志別の森運動公園

### いろいろな公共しせつ



↑市民会館



↑総合福祉センター（しんた21）



↑市立児童館



↑市民活動センター（のぼりん）



そうごうたいいくかん  
↑総合体育館



しみん プール(らくあ)  
↑市民プール(らくあ)



わしべつこうみんかん  
↑鷺別公民館



しりつとしょかん  
↑市立図書館

## (5) 図書館の中のようす

### 図書館の中はどのようにになっているのだろう

まちたんけんを終えて、学校のまわりにはいろいろな公共しせつがあるということがわかりました。その中でも、わたしたちがふだんからよく利用する市立図書館について、もっとくわしく調べてみましょう。

図書館の中には、いろいろな部屋があります。2階の部屋では、大人の人が静かに本を読んだり、何かを調べたりしています。



↑1階の様子

1階のじどう用図書室には、絵本や勉強に役立つ本など、いろいろな種類の本があります。



↑2階の様子

2階の大人の人たちが本を読む部屋には、新聞やざっしのコーナーもあります。新しく入った本などを、利用する人にわかりやすく知らせています。



↑かし出しの様子



↑利用している様子

## (6) 図書館を利用している人たち

### どのように図書館を利用しているのだろう

図書館には、利用している人がたくさんいます。どのように利用しているのでしょうか。

また、働いている人は、利用する人のためにどんなふうをしているのでしょうか。



#### 利用している人の話

図書館に来ると、いろいろな本にふれることができます。



また、コンピュータで読みたい本をさがすこともできます。どこにどんな本があるか、知りたいじょうほうをすぐ見つけることができ、便利です。

#### はたらいている人の話

図書館では、利用する人のためにいろいろなくふうをしています。例えば、読みたい本がすぐ借りられるようにしたり、季節や行事に合わせたコーナーを作ったりしています。

また、こぐま号でいどうしてかし出しをしたり、読み聞かせ会を行ったりして、たくさん的人に本を読んでもらえるようにしています。



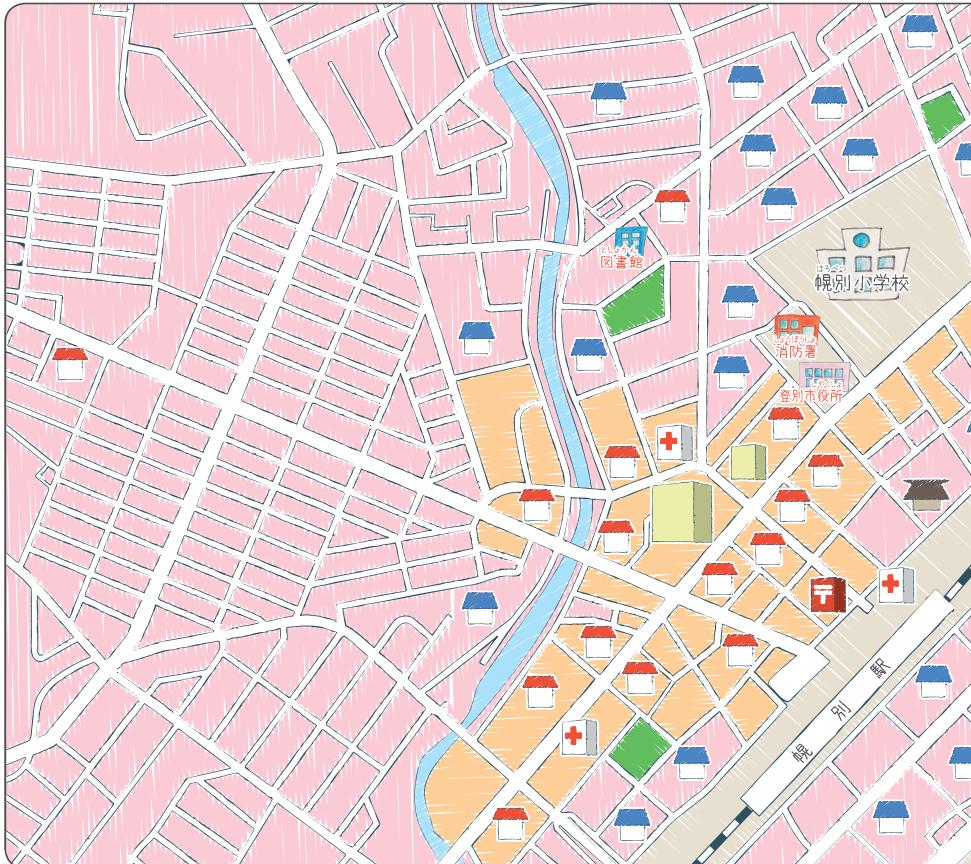
↑こぐま号



↑読み聞かせ会の様子

## (7) まちの絵地図

調べたことを絵地図にまとめよう



まちたんけんをした後、それぞれ調べたことをもちよって、みんなで学校のまわりの絵地図を作ってみましょう。

絵地図を作って、住たくやお店、公共しせつなどがどこにあるのか見てみましょう。他にも、気がつくことはないかみんなで話し合ってみましょう。



学校のまわりにはいろいろなしせつがあるね。



たんけんしてまちの様子がよくわかるようになったね。

## 2. まちから市へ広げよう

次は、はんいをもっと広げて、登別市全体の様子を調べていきましょう。

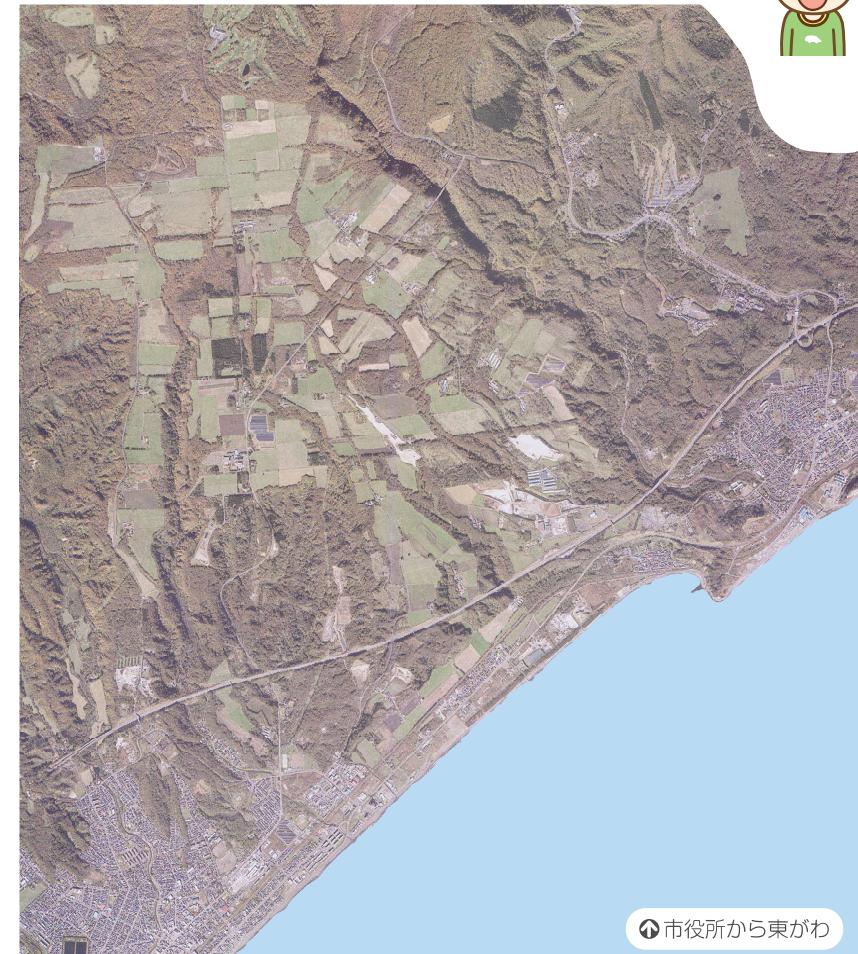
まちを学校の屋上からながめたときと同じように、登別市を空からさつえいした写真を見て、気づいたことや感じたことを話し合ってみましょう。



わたしたちの住んでいる登別市は、東西に長くのびているんだね。どこまで続いているんだろう。



なもの建物がたくさんたっている場所が、いくつかに分かれているね。ぼくたちの学校はこの近くだよ。



## (1) 登別市を調べよう

### 登別市の様子は、どのようになっているのだろう

登別市全体の地図を見ながら、市の広さや形をたしかめましょう。

#### ○市の形をかいてたしかめよう

①地図の上にうすい紙を重ねて、登別市の形をなぞってみましょう。

どんな形に見えるかな？



②形を覚えてきたら、なぞらずにかいてみましょう。

登別市はとても広いんだね。



○自分たちが住んでいるまちが、登別市のどのあたりになるのか方位でたしかめましょう。



ぼくは、登別市の南西のほうに住んでいるんだね。



※八方位を使うと、四方位より正確に方位を表すことができます。

#### ○登別市を調べる計画を立てよう！

○くわしく調べたい場所を話し合う。

○調べたい場所やテーマごとにグループをつくる。

#### ☆たとえば

①公共しせつが多い場所を調べる。

②海がわの土地を調べる。

③住む人がふえているところを調べる。

④山がわの土地を調べる。

#### ○どのようにして調べるか話し合う。



地図や写真で調べよう。



図書館や図書室で本をさがそう。



知っている人に話をきこう。



市役所から資料をもらおう。



テーマとかかわりのあるしせつへ行ってみよう。



インターネットを使って調べよう。

わたしたちのまちの様子とくらべながら、市の様子を調べてみよう。

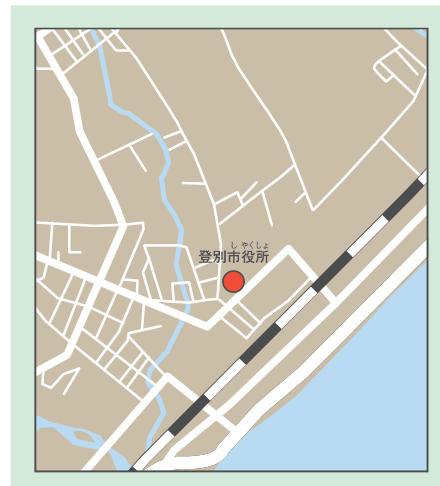


## ① 公共しせつが多いところを調べる

市役所のまわりには市立図書館や青少年会館、陸上競技場など、みんなが利用できる公共しせつがたくさんあります。また、消防署、給食センターなど、みんなの健康や安全を守る仕事をしているしせつ、幌別駅や郵便局など多くの人が利用するしせつもあります。



④ 市役所のまわりの様子



④ 市役所のまわりの地図



④ 消防署



④ 郵便局

市役所から少し山がわに進むと、市民会館や総合福祉センター（しんた 21）、郷土資料館などがあります。



④ 市民会館のまわりの様子

**郷土資料館**

郷土資料館のたてものは、登別市をひらいた片倉家の城である「白石城」をモデルにしてたてられています。

## 資料：市内にはどんな公共しせつが？

登別市のパンフレットや、『登別イラストマップ』を見てみましょう。その中には、みなさんも利用したことのある、市内のおもな公共しせつがしうかいいされています。



## ② 海がわの土地を調べる しら

### ①工場が多いところ

登別市は人がたくさん集まっている地いきが、東西のいくつかに分かれています。その地いきをむすぶ大切な役わりをしているのが、国道36号、鉄道、北海道道782号上登別室蘭線です。国道36号のまわりには工場がたくさんあります。



↑登別市の鉄道と道路の様子



### おも 市内の工場で作られている主なもの



お菓子



パン



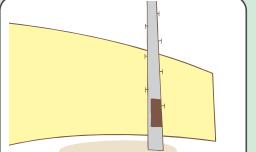
水産加工品



ラーメン・麺類



豆腐・納豆



コンクリート製品

登別市には、室蘭市にあるような大きな工場は少なく、一つの工場ではたらいている人の数も、それほど多くありませんが、古くからの工場はたくさんあります。

どうして、国道のまわりには工場が多いのか調べてみよう。



↑国道36号のまわりの様子



② 工業地いきのある場所

## みなと ②港があるところ

登別駅から海に向かって少し進むと、登別漁港があります。この漁港は、おもに登別市と白老町に住む漁師さんが使っています。港を利用する漁船の数は110艘ほどです。

登別市の漁家は、富浦町や鶴別町などを合わせて40戸ほどです。漁師さんなどの人数は70人近くいます。

登別漁港の様子



①登別漁港のまわりの地図

登別漁港で水あげされる主な魚かい類は、すけどうだら、さけ、ホッキ貝、たら、かれい、たこ、かに、えびなどです。

## ③住む人がふえたりへったりしているところを調べる

わたしたちの住む登別市は、若草町・新生町・富岸町・若山村のあたりや桜木町・新川町・常盤町のあたりは住む人がとてもふえたときもありましたが、このごろは人口がへってきています。

これらの地いきでは、公園や病院があり、お店もたくさんできました。



①富岸町・若山村のまわりの様子



②常盤町のまわりの様子



③富岸町・若山村・常盤町のまわりの地図



富岸町、桜木町、常盤町などは、住宅をたてる土地が整えられ、それからというもの、家の数も人口もふえました。

## ④山がわの土地を調べる

### ①札内町

札内町は、登別川と来馬川の間に広がる高台です。全体は、ほぼ平らな土地ですが、北から南へなだらかに低くなり、水のないさわがいくつもあります。土地は、畑や牧場に使われ、大きな牛しゃのある家々が点々と見えます。

この他にも、ぶたを育てる養とん場や、にわとりをかって、たくさんのたまごを出荷する養けい場があります。



①札内町の様子



①札内高原館



①牧場の様子



札内には、雨の量などをはかるアメダスの観測所もあるよ。

きょうしき 給食の牛乳も札内町で作られているよ。

### ②鉱山町

鉱山町は、幌別ダムの上流にあります。来馬岳とカムイヌプリの山に囲まれ、たくさんの動物や植物などが見られるゆたかな自然がのこっているところです。



鉱山町には昔、金、銀、銅をほり出す鉱山があり、その後は硫黄を生産するようになり、480戸ほどの家がありました。学校、郵便局、映画館などができる、とてもにぎやかでした。

しかし、海外からの硫黄の輸入などにおされ、昭和48年には閉山となり、今ではわずかな人しか住んでいません。

昭和49年でなくなった鉱山小中学校の校舎やグラウンドは、平成14年に「ネイチャーセンター ふおれすと鉱山」としてせつびが整えられ、市内の小中学校の体験学習などで、自然と思いきりふれあえるしせつとして、ゆうこうに使われています。



①鉱山町のまわりの様子



①鉱山町のある場所

### ③登別温泉町

登別温泉町は、オロフレ山、来馬岳、クッタラ湖に囲まれたところにあります。

登別温泉は1日に1万トンほどの温泉がわき、種類もたくさんあるので全国的に有名です。

登別温泉には多くの人たちが集まるので、ホテルやお店などがならんでいます。

まちのまわりでは、地獄谷や大湯沼など、火山の活動でできた自然の様子を見ることができます。



↑登別温泉町のまわりの様子



↑登別温泉町



↑大湯沼



↑登別温泉町の場所

## (2) 登別市の土地の様子をまとめよう

### 登別市の土地の使われ方は、どのようにになっているのだろう

それぞれのグループで調べたことや、登別市全体の土地の使われ方を表した地図をもとにして、登別市の土地の様子を、みんなで地図にまとめてみましょう。



## 2 はたらく人とわたしたちのくらし

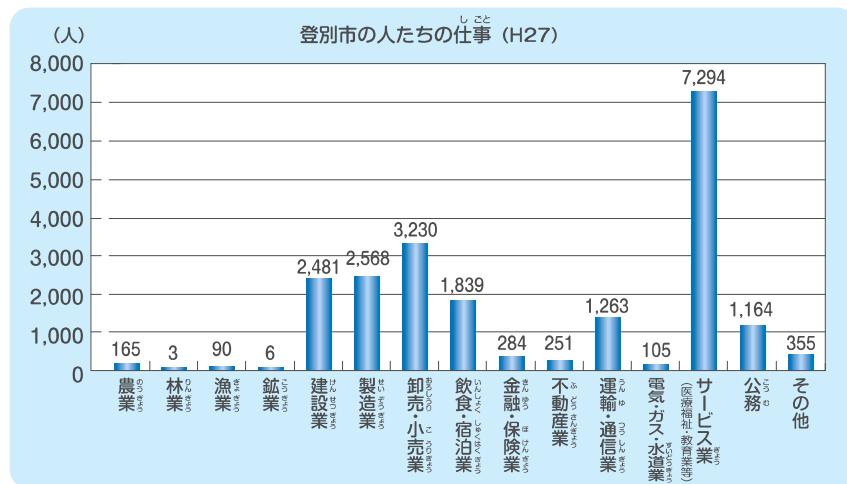


わたしたちは、まちたんけんをしたときに、登別市では、海で魚や貝がそれたり、ぼく場で牛やぶたが育てられたりしていることを知りました。また、まちのあちこちに工場やお店があることにも気がつきました。

そして、何といっても登別には、古くから温泉があり、たくさんの人々がかん光におとずれています。

わたしたちの学級にも、温泉にあるホテルやお店ではたらいている家の人人がたくさんいます。

まちではたらく人たちについて、調べましょう。



①「登別市の人たちの仕事」(資料:国勢調査)

## 1. 店ではたらく人と仕事

みなさんは、おうちの人といっしょに買い物へ行ったことがありますか。

クラスの友だちと話してみると、家によって買い物に行く店や、買い物のしかたにちがいがあることに気がつきました。



## (1) 買い物調べをしよう

どんなお店で買い物をしているのか調べよう

わたしたちのすんでいるまちには、いろいろなお店がたくさんあります。みんなの家ではどこで何を買っているでしょうか。家の人に聞いたり、いっしょに買い物に行ったりして調べてみましょう。



いつもスーパー  
マーケットに買  
るもの  
い物に行くよ。



夜おそい時は、  
コンビニが便利  
だよ。

わたしたちの家ではどこで何を買っているのか、調べてみましょう。

### 買い物メモ



さとし 9 / 15

店	買ったもの
ほんや 本屋	本
電気屋	電池
くつ屋	長ぐつ
コンビニエンスストア	おかし アイス

### 気がついたこと

本屋さんが、本をえらぶそだん  
にのってくれたよ。

### 買い物メモ



けいこ 9 / 16

店	買ったもの
スーパーマーケット	じゃがいも にんじん 玉ねぎ たまご ティッシュペーパー <sup>ひょう</sup> シャンプー

### 気がついたこと

日曜日に、家ぞくみんなで買い物  
に行くことが多い。

みんなの家が、どこで買い物をしたのか、メモをもとにして表を作りました。



いろいろな  
店で買い物を  
しているね。

## みんなの家が買い物ものに行った店

9月15日・16日

店	人数
スーパー・マーケット	31
コンビニエンスストア	12
くすり屋	8
本屋	5
電気屋	3
よう服屋	3
その他	6

表をもとにグラフをつくりました。

グラフの方が一目で分かるね。  
グラフで表してみよう。



## みんなの家が買い物に行った店

9月15日・16日



スーパーに行った家が多いね。

## (2) 店のよいところを考えよう

それぞれのお店のよいところを話し合ってみよう

買い物調べしらべをして、みんながよく買い物に行くお店がわかりました。そのお店にしかないところや、よいところについて考えてみましょう。

### スーパー・マーケット

- ・売り場が広い。
- ・大きなちゅう車場があるので車で行ける。
- ・一度にいろいろなものが買える。
- ・売っている品物の種類が多い。
- ・ちらしをみて安売りの日や安い品物を選んで買える。



たくさんのお店が入っていたり、売り場が広くお店が大きくなったりすると「ショッピングセンター」とよぶんだよ！



### せんもん店

- ・お店の人と話をしながら買い物ができる。
- ・家族の人数に合わせて必要な量だけ買うことができる。



### コンビニエンスストア

- ・いつでもあいているので便利。
- ・買い物のほかにお金をはらいこんだり、荷物を送ったりするなどいろいろな利用の仕方がある。
- ・家の近くにあって便利。



たくさん的人が買い物に行って いるスーパー・マーケットのこと をくわしく知りたいな。

### (3) 店を調べに行こう

#### ① 見学の計画を立てよう

##### いろいろなお店の様子や売り方の工夫を調べよう

近くのお店の様子や品物の売り方について調べてみましょう。

###### 店の調べ方の計画

###### 1 調べるお店

- ・スーパー・マーケット
- ・せんもん店
- ・コンビニエンスストア

###### 2 調べること

- ・買い物をしやすくするための工夫
- ・売り場の様子や、品物のならべ方
- ・はたらいている人たちの様子
- ・品物はどこから来るのか

###### 3 調べ方

- ・お店の様子やはたらいている人たちの様子をかんさつし、わかったことをメモする。
- ・お店の人や買い物をしている人たちにインタビューする。
- ・お店のチラシを調べてみる。

###### 4 気をつけること

- ・ほかのお客さんの買い物のじゃまにならないようにする。
- ・インタビューは礼ぎ正しくする。
- ・売っている品物にはさわらない。



見学の時のやくそくを  
メモしておこう。

### (4) スーパーマーケットをたずねて

#### ① 店の様子

##### スーパーマーケットの様子や工夫を調べよう

買い物調べの中でも、利用する人の多かった、スーパーマーケットについて調べてみましょう。売り場の様子や品物のならべ方などを見てみました。



###### ① 食料品売り場の様子

スーパーマーケットは、たくさんの品物を種類ごとにたなにならべて売っています。売っている品物は、食料品やいろいろ、本、電気せい品、日用品などいろいろな物がたくさんあります。



品物が見やすくならんでいるね。



どこに何があるかわかるね。



大きなちゅう車場があるね。



ねだんがわかりやすくなっているね。



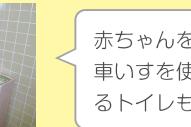
小さな子どもたちものせることができるよ。



しょうがいのある人のためのちゅう車場所だね。



赤ちゃんをお世話する部屋や車いすを使う人でも利用できるトイレもあるね。



## ② はたらく人の様子 ようす

お店では売り場の中だけではなく、売り場の外でもたくさん的人が仕事をしていました。お店の人たちはどんな工夫をしているのでしょうか。



お客様が買いやすいように品物をならべています。たなの様子にいつも注意をはらい、品物が整っていないときにはすぐにならべ直します。  
品物の数が少なくなってきたら倉庫から運んできてすぐにならべます。

お客様を待たせることなく、ていねいに品物をあつかうように心がけます。  
特にお金の受けわたしをまちがえないように気をつけています。お客様が自分で会計するセルフレジもあります。



お店では、魚や野菜などをいろいろな大きさに切り分けて売っています。お客様の注文があればそれに合わせて魚を切ったり、もりつけたりします。  
新せんな品物を清けついにあつかうように気をつけています。

トラックでとどけられた品物を、店内へ運び入れます。お店の品物が売り切れてしまわないようにとどけてもらう時間を作りて仕入れをしています。



お店では、お客様が買い物しやすいように気をつけながら、たくさん的人がてきぱきとはたらいていたよ。

## ③ 品物はどこから

野菜や果物のくだもの売り場では、ねふだや品物の入っているはこから北海道をはじめ、日本や世界のいろいろな地いきから品物がはこばれています。

近くのまちの伊達市からの野菜や壮瞥町のくだものもあります。環境や体にやさしい品物を各地から数多くそろえています。



① 外国からはこばれてきたもの



環境や体にやさしい食品



② 近くのまちでとれたもの



## 店長さんの話

たくさんの種類の安全でよい品物を、少しでも安く売るために、日本国内だけでなく、外国からも仕入れをしています。

野菜や果物は、青果市場などを通さずに農家から直接仕入れている物もあります。また、『地産地消』にも取り組んでいます。

このように、安全で新鮮な品物をできるだけ安く売るための工夫をしています。

最近は、農薬をへらして作った野菜など、健康のためによいとされる品物を買っていくお客様がふえています。



## 地産地消

「地元で生産されたものを地元で消費する」という意味で、近くでそれた物を近くで賣るので運送費などがかからずに品物を安く売ることができ、作った農家の様子が分かるので安全で新鮮な品物を売ることができる。

また、スーパー・マーケットのような大型店では、レジぶくろを有料にして、買い物バックを持参してもらうようにしたり、食品トレイや紙パック、アルミかんなどの回収ボックスを設置したりするなど、環境や社会のために、限りある資源を大切にする取組もしています。

## (5) 商店街の工夫

### ① いろいろな商店街

#### 商店街の工夫を調べよう

登別市には、中央町、若山町・富岸町、登別駅前、登別温泉町に大きな商店街があります。

それぞれの商店街では、お客様がたくさん来るよういろいろな工夫をしています。



幌別中央通り



若山・富岸町の商店街



登別駅前の商店街



登別温泉町の商店街

わたしたちの町の商店街ではどんな工夫をしているのか調べてみましょう。

## ② 商店会の工夫

### 商店会の人たちはどんな工夫をしているのだろう

商店街では、お店をもっている人たちが集まって、商店会を作っています。



商店会では、商店街をさかんにして、お客様によろこんで買い物をしてもらうために、いろいろなおまつりを計画したり、買い物についての様々な情報をホームページで発信したりしています。

グリーン・ピア商店会では、春にクリーンウォークというごみひろいをしたり、公園を整備したりする活動にも力を入れています。そして、夏にはサマーフェスティバル、冬には節分にあわせてオニ祭りを行っています。

チラシや広告などで品物をせん伝したり、お正月になると福引きや景品を出す大売り出しを行ったりするなど、お客様がたくさん来るよう工夫しています。

### 商店会の人の話



今は大きなお店がふえ、小さなお店は売り上げが落ちてきていることがなやみです。また、お店を継ぐ若い人が少くなり、商店会に入るお店も年々へっています。

商店会では、お客様がもっとたくさん来るようになんちで知恵をしづり、力を合わせていろいろな計画を考えています。

## 2. コンクリート工場ではたらく人と仕事

### (1) 見学の計画を立てよう

#### 工場を見学するための計画を立てよう

マリンパークに行くとちゅう、国道の右がわに「北海道コンクリート」という大きなかん板があります。そこでは、町にある電柱やたてものなどに使われるくいをつくっているそうです。

わたしたちは、登別市にあるコンクリート工場を見学することにしました。まず、みんなで話し合って、見学のじゅんびをしました。



①コンクリート工場

#### コンクリート工場の見学

3年1組 ○○○

①見学に行く日

〇月〇日 (○)

②見学する工場

北海道コンクリート工業

③持ち物

見学メモ、筆記用具、カメラ

④調べべぐること

##### ●つくり方について

- ・どんなせい品をつくっているのか。
- ・どのようにしてつくられているのか。
- ・原料は何を使うのか。どこからくるのか。
- ・どのような機械を使うのか。
- ・できあがったせい品はどこへ行くのか。

##### ●はたらく人について

- ・はたらいているときに気をつけていることは何か。
- ・どのような仕事があるのか。
- ・はたらく人の数はどれくらいか。
- ・はたらいている時間はどれくらいか。

##### ⑤調べ方

- ・自分の目で見る。
- ・工場の人々に話を聞く。

## (2) 工場を見学しよう

### ①電柱はどうやってつくるのかな？

#### 工場を見学して調べよう

工場の中に入ると、大きな機械の動く音が聞こえました。

機械のそばには、はたらく人がいました。機械がうまく動いているか注意をはらったり、しんちょうに作業をしたりしています。

#### 電柱ができるまで

①まいた形の鉄筋を機械で  
まっすぐにのばす。



②鉄筋を組み立てて、形をつ  
くっていく。



◎セメントと砂、碎石、水などをミキサーでまぜて、コンクリートをつくる。



③組み立てた鉄筋を入れた型わく  
の中にコンクリートを流しこん  
でいく。



④回転させ、つつのようにする。



#### ○工場でのメモの取り方

- ・大切だと思うことをかんたんに書きとめる。
- ・絵の方がわかる時は、かんたんにスケッチする。
- ・カメラは、工場の人にくわってから使う。



⑤6時間ほど70度のじょう気  
を通し、強度を高める。



⑥せいひん品けんさをした後、さらに強度を高める。



## ②どんな工夫をしているのかな？

せいひんをつくるために、特に大切にしていることをたずねてみました。

### 工場の人の話

わたしたちは、より安全に、安くよいものをつくることを大切にしています。そのために、さまざまな工夫や努力をしています。

たとえば、毎月1回それぞれのチームで話し合いをして、きけんなことがないように気をつけています。

また、よりよいものをつくるために勉強する場をもうけたり、研究をしたりしています。



↑けんさの機械



## ③どんな仕事があるのかな？

ほかにどんな仕事があるのかを聞いてみました。



### じむ所の仕事

大きく分けて、生産・業務の二つの係で仕事をしています。

生産の係では、何をどれだけつくるか、せいひんの品質のチェックやアドバイスなどをしています。

業務の係では、はたらいている人が安全に仕事ができるよう気を配っています。



## 機械のしゅう理などの仕事



工場では、たくさんの機械が動いています。もし、その機械がこしょうしたら大変です。しゅう理たん当の人は、工場にあるすべての機械をしゅう理できなければなりません。この仕事をおぼえるのに、10年かかりました。



工場には、電柱やくいをつくる人のほかにも、いろいろな仕事をする人がいることがわかりました。

## ④どのようにはたらいているのかな？

次に、工場ではたらいている人について聞いてみました。

### はたらく人について聞いたこと

- ・この工場では、ふだんやく85人がはたらいている。
- ・ほとんどの人が登別市内から通っている。
- ・通きんには、車を使う人が多い。
- ・昼ごはんは、休けい室でおべんとうを食べる。
- ・年に1回けんこうしんだんをうけている。

### 資料「はたらく人たちの1日」

	午前				午後					
	8時	9時	10時	11時	12時	1時	2時	3時	4時	5時
月曜日～金曜日					休 けい		昼 食		休 けい	
土曜日・日曜日										お 休 み



↑作業の様子

## ⑤原料はどこからくるのかな？

わたしたちは、電柱やくいの原料となる鉄筋やセメント、砂、碎石などどこから運ばれてくるのか、工場で聞いたことを地図にまとめてみました。



## ⑥せい品はどこへ行くのかな？

工場では、さまざまな町や会社からの注文により、多くのせい品をつくりています。係の人がせい品の行き先や運ぶ時に気をつけていることを教えてくれました。



この工場でつくられたせい品は、道内各地にとどけられ、使われています。大きなトラックにせい品をのせて運んでいます。長い時間かけて運ぶことが多いので、と中で点けしながら運んでいます。



北海道で使われている電柱のほぼ半分は、この工場でつくられています。

## (3) 見学メモからまとめよう

コンクリート工場の見学メモをもとにして、わかったことや思ったことなどをノートにまとめましょう。

また、自分が考えたことや感じたことについてもノートに書き加えましょう。

### 調べて感じたこと

わたしは、コンクリート工場で、安全に気をつけながら、いろいろなコンクリートせい品をつくっていることがわかりました。町の中で目にしている電柱やコンクリートせい品が、たくさんの工夫と努力によって、大切につくられていると感じました。

○○さんのノート



### 3. ここは温泉のまち

#### (1) 登別温泉の見学の計画を立てよう

登別温泉は、支笏洞爺国立公園の中にある有名な観光地です。毎年、観光客がおおぜいやってきます。「日本の温泉100選」で、1位にえらばれたことがあります。

登別温泉には、たくさんのホテルやみやげ物店、飲食店などがあり、そこではおおぜいの人人がはらいています。

登別温泉におおぜいの観光客がやってくるのには、なにか秘密がありそうです。みんなで調べてみましょう。

#### 調べてみよう

- ・どんな種類の温泉があるか。
- ・ホテルではたらいている人たちは、どんな仕事をしているか。
- ・観光客をよぶためにどんな工夫をしているか。
- ・温泉のほかに、どんな観光施設があるか。
- ・観光客は、どこから来るのが。



#### (2) ホテルではたらく人々をたずねよう

登別温泉をおとずれたわたしたちは、ホテルではたらく人たちにインタビューをしてみました。



#### きゃく お客さんをむかえる仕事をする人の話

わたしたちは、お客様が来てから帰るまで、安全に気持ちよくすごせるよう心がけています。

このごろは、海外からのお客様も多く、さまざまなしつ問にも答えられるように勉強をしていますし、大切なことはメモをとるなどして、すみやかに対応できるように、いつも気をつけています。



#### りょうり 料理をつくったり、かたづけたりしている人の話

わたしたちは、仕入れや調理、かたづけなどの仕事を分たんして行っています。お客様の希望した料理を用意することをはじめ、あたたかいものや冷たいものが一番おいしく出せるように工夫しています。

また、えいせいめんにも十分注意しています。そして、なによりうれしいのは、お客様が「おいしい。」と言って、食べてくれることです。



#### た その他の仕事をする人の話

ほかにもいろいろな仕事があります。例えば、予約の受けつけや部屋のそうじ、ふとんの上げ下ろし、おふろのかんり、夜の見回りなどです。

これらの仕事もすべてお客様が気持ちよくすごせるようを行っている仕事です。

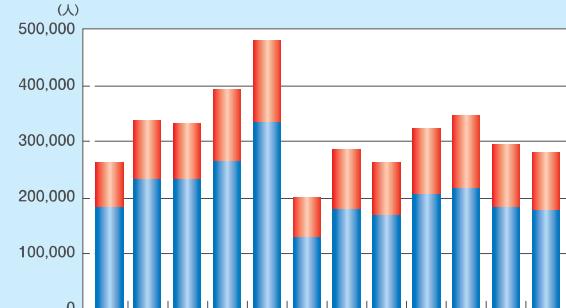
### はたらく人たちの1日

わたしたちは、それぞれの仕事の内容によりはたらく時間がちがいます。朝早くからはたらいでいる人たちもいれば、夜中にはたらいでいる人たちもいます。  
また、人手がひとつような時間には、人数を多くするなど、いつもお客様のことを考えて、はたらく時間を決めています。



### (3) 観光客をよぶための工夫

登別温泉には、春から秋にかけておおぜいの観光客がやってきます。1年間では、380万人もの人がやってくるのです。



① 登別温泉の観光客数の月別グラフ(平成30年度)

### 登別地獄まつりの様子



### 地獄まつり実行委員長さんの話

登別温泉には、毎日たくさんのお客さんがおとずれますが、とくに8月末の「登別地獄まつり」には、3日間で約6万人もの観光客がおとずれて温泉のまちは大にぎわいとなります。

温泉街では、「えんま大王」や「鬼みこし」をくり出し、和だいこを打ちならしたり市民がさんかして鬼おどりをおどったりして、おまつりをもり上げます。



登別温泉では、この地獄まつりのほかにも2月には豊かな温泉が出ることにかんしゃする「登別温泉湯まつり」があります。このほか、カルルスでは、3月に「カルルス温泉冬まつり」があります。

このようなおまつりを行い、市民や観光客にたくさん来てもらえるような工夫をしているのです。

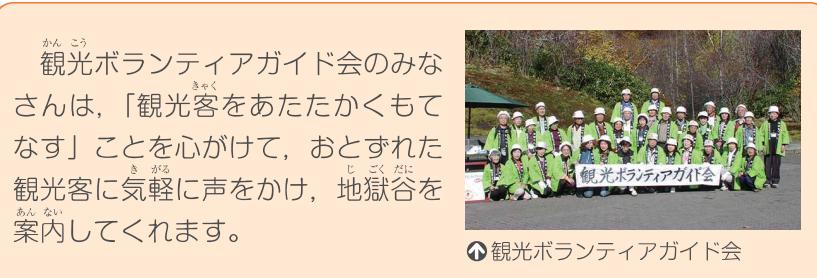
### 登別国際観光コンベンション協会の人の話

登別温泉にたくさんのお客さんが来てもらえるように、温泉に入るだけでなく、いろいろな工夫をしています。

たとえば、地獄谷や大湯沼などのうつくしい景色を楽しんでもらうための遊歩道をつくったり、温泉街の電柱をしらかばの木にランプがつり下がっているような街路灯にしたりするなど、お客様が気持ちよくすごせるようなまちづくりを進めています。

また、テーマパークである「のぼりべつクマ牧場」や「登別マリンパークニクス」、「登別伊達時代村」などのパンフレットを配ったり、イベントのポスターをつくったりして、せん伝も行っています。





#### (4) 観光客はどこから来るのかな？

登別温泉のパンフレットの文字は、日本語だけでなく、外国語も使われています。

「観光客は、外国からも来ているのかもしれない。」そう思ったわたしたちは、観光客がどの国から來るのか調べてみました。



中国	132,545人
韓国	111,739人
台湾	130,287人
香港	37,107人
シンガポール	13,799人
その他の国	60,415人
計	485,892人

道 内	1,819,128人
道 外	1,964,163人
計	3,783,291人

↑登別温泉をおとずれた人の国別・道内外人数（平成30年度）



外国からもずいぶんたくさんの人が来ているんだね。



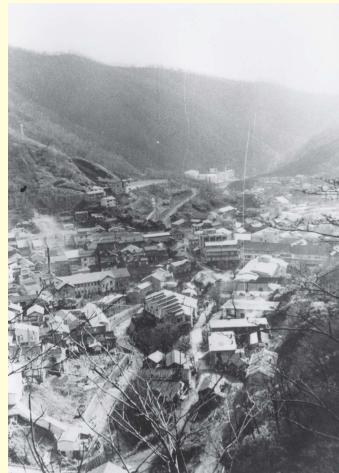
わたしたちは、登別温泉ではたく人たちの仕事の様子やたくさんの工夫や努力を知りました。これからも、登別温泉がたくさんの人たちに親しまれてほしいと思うようになりました。

## 1. 登別温泉の歴史

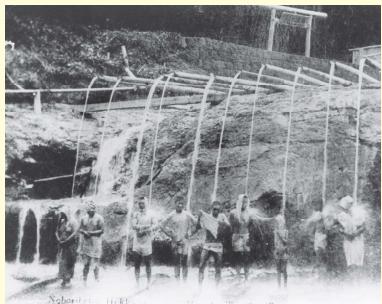
登別温泉は、約350年以上前から、温泉のわき出ていることが人々に知られていました。ここに、最初に湯宿をたてたのは、岡田半兵衛という人でした。

その後、登別のまちをひらき、温泉を大きくしたのが滝本金蔵という人です。

金蔵は、明治14年(1881年)に自分のお金を使って登別温泉に通じる新しい道路をつくりました。さらに明治25年(1892年)には、冬でもとまれる温泉場にするなど、登別温泉のもとをきずいたのです。



④昭和40年ごろの登別温泉の様子



④明治時代、温泉場の様子



④昭和47年第9回登別温泉地獄まつりの様子

## 2. 温泉と乗り物の話

登別温泉に行くための乗り物も、道路が整えられるにつれて変わってきました。温泉に行く最初の乗り物は、明治24年から使われた客馬車です。当時は登別のまちから温泉まで2時間くらいもかかったそうです。

その後は、大正4年に、鉄道馬車といって線路の上を馬車が走るようになりました。

大正7年にじょう気きかん車が走りましたが、上り坂になると、石炭をたくさんくべなければならず、えんとつから火のこが出て、山火事になったこともあったそうです。

大正14年には、電車が走るようになりましたが、上り坂では、電力が不足して進めなくなり、お客様がおりて電車をおしたこともあったそうです。

昭和8年には、今の道路をバスが走るようになりました。



④大正時代、紅葉谷を走るじょう気きかん車／『写真で見る登別温泉史』

# 3 地いきの安全を守る

## 1. 火事からまちを守る

### (1) 消防設備をさがそう

#### ①消防設備調べ

##### 学校にはどこにどんな消防設備があるか調べよう

わたしたちの学校では、みんなの命を守るためにひなん訓練をしています。また、学校の中には、防火や消火のために、いろいろな設備があります。

わたしたちはさっそく、学校の中を調べてみることにしました。



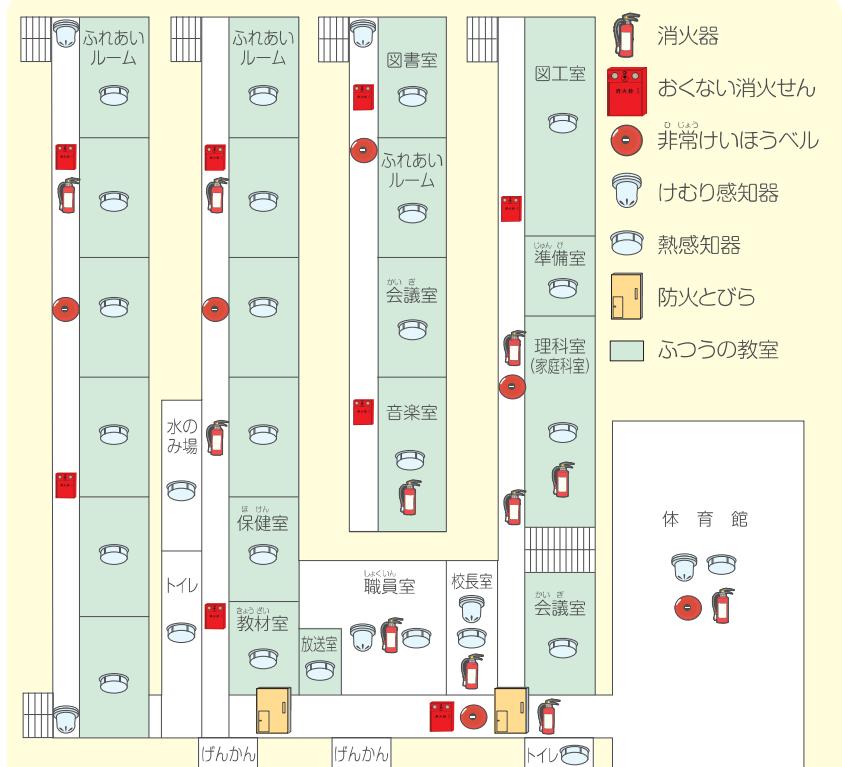
①ひなん訓練のようす



それぞれの設備は、どのなかまに入るのだろう

#### 消防設備のなかまわけ

- ・火事を知らせるもの
- ・火事を消すもの
- ・火事が広がるのを防ぐもの



## (2) 地いきで見つけた消防の工夫

### ① 調べる計画づくり

#### 地いきの消防しせつを調べる計画を立てよう

わたしたちは学校の消防設備調べから、地いきの中にも防火や消火、ひなんのためのしせつがあるのではないかと考えました。そこで、みんなで地いきの消防しせつを調べるための計画を立てました。

##### 調べ方

- どこに、どんな消防しせつがあるか。
- どんな目印がつけられているか。
- 場所によって、消防しせつにはちがいがあるか。
- 地いきごとに、分たんする。
- 地いきの人にインタビューする。（店や工場など）
- 絵や記号を使って、調べたことをメモしておく。

わたしたちは手分けして、地いきの消防しせつを調べてみました。

##### 消火栓



##### 防火水そう



### ② 地いきの消防しせつ調べ

グループでそれぞれ調べたことを、大きな絵地図にまとめてみました。地図にまとめてみると、いろいろな発見がありました。

#### わたしの発見

- 消火栓は、道はばの広い道路にたくさんある。
- 防火水そうの数は少ない。



①地いきの消防しせつ図

わたしたちは、これらの消防しせつを使って火事を消すしくみはどのようにになっているのかを知りたくなりました。そこで、消防署の方に聞いてみるとことになりました。

### (3) 消防署をたずねて

#### ① 通信指令室のはたらき

##### 消防署を見学し、火事を消すしくみはどうなっているのか調べよう

わたしたちは消防署をたずねて、火事を消すしくみや、消防署の仕事について調べることにしました。

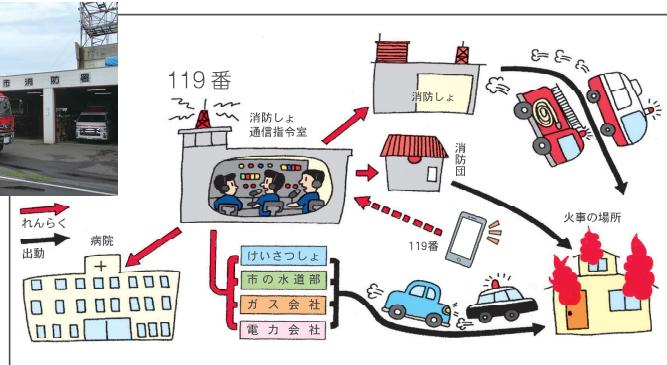


##### 通信指令室の人の話

火事や急病の知らせは、市内のどこからでも119番でこの消防署の通信指令室につながります。



④ 消防署



⑤ 通信指令室からのれんらくのしくみ



\*令和2年10月には登別温泉支署と登別支署が無くなり、中登別にできる東支署に統合されます。

⑥ 市内の消防署、支署、分団詰所の配置図



⑦ 通信指令室の様子

**119番通報（火事・急病ほか）**

- 1年間 2,329件
- 1日あたり およそ6件

(登別市 平成30年)

#### ② 早く火事を消すために

##### 消防署では、早く火事を消すためにどんなことをしているのだろう

わたしたちは、火事を少しでも早く消すために、どんな工夫をしているか聞いてみました。

消防署の人は、次のようなことを話してくださいました。



##### 消防署の人の話

- 市内には、1つの消防署と3つの支署があり、だいたい5分ぐらいで火事の現場に行けます。
- いつでも出動できるように、交代で夜も寝ません。
- ふだんから、何時ころはどの道路がこむか、工事中の道路はどこなどを探っています。
- 地元にいる消防団の人とも協力して消火に当たります。
- 消防団のメンバーは地元の人たちで、ふだんは自分の仕事をしながら、火事などの時にかけつけます。
- 大きな火事のときは、室蘭市や白老町などの近くの市や町と協力して消火に当たることもあります。

8	↓ ひきつづき
9	くんれん きかん 機械や自動車の点検・手入れ
10	休けい・食事
11	じむ ちょうさ くわんれん 事務、調査・訓練
12	休けい・食事
1	じむ 事務
2	じむ ちょうさ くわんれん 事務、調査・訓練
3	休けい・食事
4	じむ 事務
5	休けい・食事
6	じむ 事務
7	じむ 事務
8	じむ 事務
9	じむ 事務
10	ふく きふ きふ 服を着たまま が 仮眠 (こうたいで あ 起きる)
11	くんれん そうじ ひきつづきのじゅんび
12	くんれん そうじ ひきつづきのじゅんび
1	起きる・体そう
2	くんれん そうじ
3	ひきつづきのじゅんび
4	起きる・体そう
5	くんれん そうじ
6	起きる・体そう
7	くんれん そうじ
8	くんれん そうじ
9	くんれん そうじ

⑧ 1日のきんむ

##### きんむのしかた



### ③火事を防ぐために

消防署では、火事が起きるのを防ぐためにどんなことをしているのだろう

わたしたちは、消防署では、火事を消す仕事のほかに、どんな仕事をしているのか聞いてみました。

#### 消防署の人の話



ガソリンスタンドなどを見回り、火災予防のしせつが整っているかどうかを検査しています。

また、様々な場所で講習会を開いて、正しい消火のしかたなどを説明したり、地いきの消火栓や防火水そうなどがいつでも使えるように点検をしたりしています。また、消火訓練や救助訓練もしています。

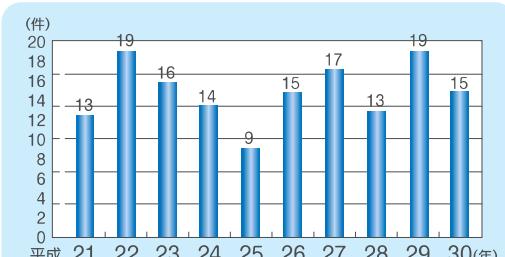
火事や災害のない日が続くことが一番うれしいことです。

みなさんも火の取りあつかいに気をつけたり、災害が起きたときの備えをしてください。

消防署の人たちがけが人や病人を救急車で運んだり、台風や大雨の時には、がけくずれや水害のひがいにあわないように見回りをしたりすることも聞き、わたしたちはおどろきました。お話をうかがい、消防署の人たちの努力や苦労がよく分かりました。

わたしたちは教室に帰ってから、防火・防災について話し合いました。

全国の火事の記録（平成30年）	
・発生件数	37,981 件
・死者（なくなった人）	1,427 人
・傷者（けがをした人）	6,114 人
・被害額	約 846 億円



①登別市の火災件数



①検査の様子



②はしご車



③ポンプ車



④救急車



⑤広報車

#### 資料（登別市消防年報 平成30年より）

月	件数	月	件数
1	2	7	1
2	0	8	0
3	3	9	2
4	2	10	1
5	1	11	0
6	3	12	0

⑥火事の月別発生件数

曜	件数
月	2
火	3
水	1
木	5
金	1
土	1
日	2

⑦火事の曜日別発生件数

時間	件数
0~6	0
6~12	6
12~18	4
18~0	5

⑧火事の時間別発生件数

不明・調査中
こんろ
電話等配線
排気管

⑨火事の主な原因

## じ こ じ けん まも 2. 事故や事件からまちを守る

### (1) おそろしい交通事故

先生が、1枚の写真と表を見せてくださいました。

わたしたちは、交通事故を見たことや聞いたことなどを思い出しました。そして、交通事故が起きたとき、警察署の人はどんなことをするのか、事故を防ぐためにどんなしくみやしせつがあるのかなど、調べたことを話し合い、学習の計画を立てました。

くべつ 区別	年別	平成28年	平成29年	平成30年
一日平均	発生件数	31.0件	29.6件	27.2件
	死者(なくなった人)	0.43人	0.41人	0.39人
	傷者(けがをした人)	37.0人	34.7人	31.5人
一年間	発生件数	11,329件	10,815件	9,931件
	死者(なくなった人)	158人	148人	141人
	傷者(けがをした人)	13,489人	12,673人	11,494人

①北海道の交通事故の記録



②交通事故の写真

交通事故について話し合い、学習計画を立てよう

#### 調べたいこと

- ・交通事故が起きたとき、どんな  
れんらくのしくみがあるのか。
- ・交通事故を防ぐために、どんな  
しせつをつくり、どんな工夫や  
努力をしているのか。

#### 調べ方

- ・近くの交番（警察署）を見学する。
- ・警察官にインタビューする。
- ・地図ごとに分たんして、しせつを調べ、ノートにメモしておく。

#### 全国の交通事故（平成30年）

- ・件数 430,345件
- ・死者（なくなった人） 3,532人
- ・傷者（けがをした人） 524,695人

むろらん かんない  
室蘭警察署管内とは、室蘭市  
と登別市のことです。

くべつ 区別	年別	平成28年	平成29年	平成30年
一日平均	発生件数	0.6件	0.5件	0.4件
	死者(なくなった人)	0.014人	0.008人	0.01人
	傷者(けがをした人)	0.7人	0.6人	0.5人
一年間	発生件数	224件	190件	155件
	死者(なくなった人)	5人	3人	4人
	傷者(けがをした人)	264人	230人	186人
	自動車保有台数	93,291台	93,315台	93,215台

①室蘭警察署管内における交通事故の記録

## (2) くらしの安全を守る警察署

### ① 110番のしくみ

#### 110番のしくみは、どのようにになっているのだろう

わたしたちは、警察署で、急な知らせに備えたれんらくのしくみについて聞いてみました。

##### 警察署の地いき課長さんの話



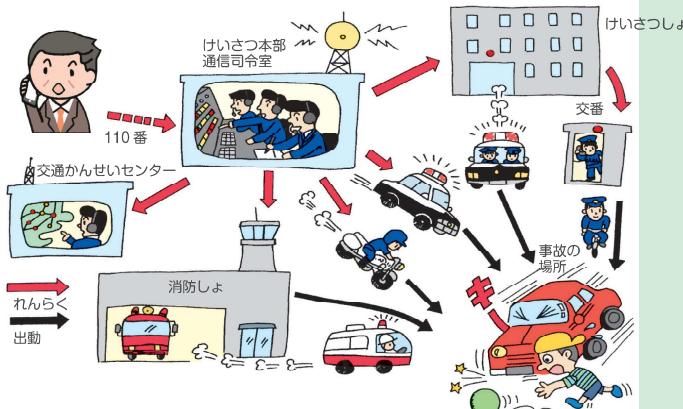
交通事故や事件などを知らせる110番は全て、札幌にある警察本部の通信司令室につながります。その時に、事故が起きた場所、事故の大きさ、けが人がいるかなどを確かめ、すぐに、うけもちの警察署や近くの交番、パトカーにれんらくします。もしけがをした人がいれば、消防署にもれんらくし、救急車が急いでかけつけます。事故の現場へ1秒でも早く行けるようにしています。

##### 交番・駐在所の数（平成30年）

- 全国で、およそ12,589か所
- 登別市で4か所
  - ・登別交番
  - ・登別温泉交番
  - ・登別東交番
  - ・新生交番

##### 110番通報

- 室蘭警察署管内（平成30年）
- ・1年間に  
5,468件
  - ・1日平均  
14.9件



①交通事故が起きたときのれんらくのしくみ

次に、わたしたちは、事故の現場での仕事について聞いてみました。



##### 事故の現場での仕事

交通事故が起きたら、すぐに救急車や消防隊と協力してけが人を助け出したり、事故車の火事を防いだりします。また、その場で続けて事故が起きないように交通整理をします。その後で、事故の内ようを整理して、事故の原因をくわしく調べます。

わたしたちは、警察の仕事は速さが大切で、そのひみつが110番のれんらくのしくみにあることがわかりました。



①交番の様子



②パトロールの様子



③道案内の様子

### ② 警察官の1日

交通事故や事件は、いつ起きるかわかりません。警察署の人はどのような仕事をしているのか聞いてみました。



##### 警察署の人の話

事故が起きた時、いち早く現場にかけつける警察官は交代できんむしています。ですから、交番は24時間休みなく、みなさんがねむっている間も、仕事をしていますよ。

##### 1日目

当番（きんむ）  
<朝>

##### 2日目

非番（休み）  
<朝>

##### 3日目

日勤（きんむ）  
<朝> → <夕>

④警察官のきんむのしかたの例（当番は24時間きんむ・日勤は8時間きんむ）

### ③交通事故のないまちに

#### 交通事故を防ぐために、どんなことをしているのだろう

わたしたちは、交通事故を防ぐためにどんな仕事をしているのか聞いてみました。

交通安全協会の人たちと協力して、交通安全教室などを開いて、道路の正しいわたり方など、実際にやってみせながら、みなさんに説明しています。



道路や交差点で、歩行者やドライバーに事故のないようによびかけたり、指導しています。

交通事故の多い場所の原因を調べたり、安全を守るためにのしせつを点検したり、新しくつくりっています。

#### 交通安全教室の様子



#### 信号機の点検



#### 交通整理

警察署の人たちは、交通事故をなくすため、市役所や交通安全協会、学校、PTA、町内会、地いきボランティア、老人クラブなど、地いきの人たちと協力していることも教えてくださいました。

#### 警察署の交通課の人の話

登別市では、警察署や交通安全協会などと協力し、春・夏・秋・冬の交通安全運動などを行っています。秋には、その運動の一つとして、「人と旗の波」街頭啓発運動も行っています。また、いろいろな機会に交通安全をよびかけるパンフレットなどを市民に配っています。交通安全協会や交通安全指導員の人たちがみんなの学校に行き、安全に登下校できるように指導しています。地いきの方が、登下校の見守りをくださることも安心につながっています。油断せず、左右をしっかりと確かめて横断しましょう。



この学習でわたしたちのくらしは、警察の人たちや地いきのいろいろな人たちの協力や努力で守られていることがわかりました。また、自分の安全は自分で守ることも大切だと思いました。

#### 「人と旗の波」街頭啓発運動の様子



#### 登別市の交通事故（平成30年）

一般社団法人 室蘭地区交通安全協会発行「交通事故のあらまし」より

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	合計
発生件数	2	8	2	5	5	4	6	6	3	3	3	5	52
死者(なくなった人)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
傷者(けがをした人)	2	12	2	6	5	4	7	7	4	4	3	8	64

#### ①月別発生件数

曜日	月	火	水	木	金	土	日	合計
発生件数	12	8	7	8	3	7	7	52
死者(なくなった人)	1	0	0	0	0	0	0	1
傷者(けがをした人)	13	9	11	10	5	8	8	64

#### ②曜日別発生件数

	発生件数		死者(なくなった人)		傷者(けがをした人)	
	29年	30年	29年	30年	29年	30年
新生地区(鶴別、栄、美園、若草、上鶴別、新生、富岸)	31	24	0	0	41	32
大和地区(若山、大和、青葉、緑、桜木)	13	11	1	0	13	13
幌別地区(幌別、中央、新川、富士、片倉、川上、鉱山)	7	7	0	0	12	7
千歳地区(常盤、柏木、来馬、千歳、新栄、幸、富浦、札内)	5	4	0	0	6	4
東地区(登別本、登別東、登別港)	5	3	1	0	6	5
温泉地区(中登別、上登別、登別温泉、カルルス)	3	3	0	1	3	3
高速道路	0	0	0	0	0	0
合計	64	52	2	1	81	64

#### ③地いき別発生件数

## 4 登別市の歩み

### 1. 昔の道具とくらし



郷土資料館

家に伝わった道具や、家来たちの家に残された古い文書などが展示されています。

「昔の道具はどうやって使われていたのだろう。」みんなで昔の道具について絵カードにまとめることにしました。

#### まちに残っている古い道具を調べよう



#### 絵カード

##### 【道具の名前】

##### 【使われていた時代】

ひいおじいさん、ひいおばあさんが生まれ育ったころ

##### 【思ったこと】

- かまでどうやってごはんをたいていたのだろう。
- どうして底が黒くて丸いのだろう。
- ごはんの味はおいしかったのかな。



郷土資料館 1階 暮らしのコーナー

これらの道具はどのように使うのかな？



## 道具のうつり変わりを絵年表にまとめよう

みんなで絵カードを古い順にならべて、道具のうつり変わりの絵年表をつくりました。

絵年表には、仕事の様子のうつり変わりや、社会の様子についても、調べて書き入れることにしました。

ひいおじいさん、ひいあばあさんが生まれ育ったころ  
(およそ80～100年くらい前)



おじいさん、おばあさんが生まれ育ったころ  
(およそ50～70年くらい前)



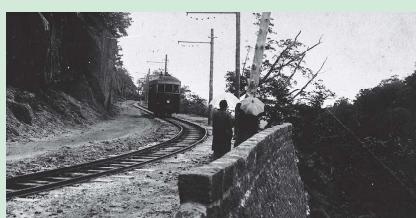
### 絵年表のつくり方

- ①年表を四つの時期に分ける。
- ②調べたことを、左から右へ、古い順にならべる。
- ③道具のうつり変わりのほかに、仕事の様子や、そのころの社会の様子なども書きこむ。
- ④絵カードや写真などをはって、年表をまとめめる。

お父さん、お母さんが生まれ育ったころ  
(およそ30～40年前)



わたしたちが生まれ育ったころ  
(およそ10年くらい前から今)



↑昭和初期、紅葉谷を走る電車



↑昭和35年、朝の幌別駅前



↑昭和50年ごろの道道782号線  
右奥には、総合体育館が見えます。



↑平成16年にオープンした市民プール「らくあ」

## 2. 登別市のうつり変わり

### 変化してきた登別市の様子や、これから課題を調べよう

わたしたちが住む登別市は、縄文文化からアイヌ文化へ、そして明治時代の開拓につながって、まちの姿は大きく変わってきました。

昭和45年（1970年）には、北海道で30番目の市として登別町から「登別市」になり、市内では、はなやかにお祝いのパレードが行われました。また、令和2年（2020年）には、市制施行50周年を迎え、記念行事が行われます。

登別といえば、「温泉のまち」として知られており、登別温泉やカルス温泉には、登別原始林や温泉の湧き出る地獄谷や大湯沼、美しい橋湖など豊かな自然があります。また、深さ120m以上の谷にかかる新登別大橋からの景色、クマ牧場や水族館などのテーマパークもあり、道内だけでなく本州や外国からの観光客でにぎわっています。

若草町や新生町などは、室蘭市へ通える近さにあるので、早くから家が建てられました。その後、水田のあった富岸町にもたくさんの家が建ち、道路や公園などが整備され、お店が次々にできました。

若山町には、若山浄化センターができ、市内のトイレはほとんどが水洗化されました。また、子どもからお年寄りまで、健康で安心してくらすことができる施設なども必要になり、川上公園や岡志別の森運動公園が整備され、グラウンドや野球場、遊具などができました。



①昭和45年、登別市となったときのお祝いパレード



②昭和60年ごろ、水田が作られていた富岸町。おくの建物は富岸小学校

また、片倉町にある総合福祉センター（しんた21）は、市民の健康はもちろん、お年寄りや体の不自由な人たちが、安心してすごすことができる場として利用されています。

その他にも、まちづくりなどの市民団体をサポートする市民活動センター（のばりん）や、縄文文化などの遺跡が学べるのばりべつ文化交流館（カント・レラ）などができました。

市役所では、市民の税金を使って、こうした公共施設などを整え、市民が安心して生活しやすいように取り組んでいます。豊かなくらしを送るためのまちづくりについて、わたしたちも考えてみましょう。

#### 「しんた21」の名前の由来

「シンタ」という言葉はアイヌ語で「神が天空を飛行するときの乗り物」と伝えられています。（日常語では「ゆりかご」という意味があります。）



③平成2年に運転開始した若山浄化センター

年	世帯数	人口
1990（平成2）	19,629	56,584
1991（平成3）	19,952	56,593
1992（平成4）	20,381	57,003
1993（平成5）	20,615	56,916
1994（平成6）	20,981	57,117
1995（平成7）	22,624	57,367
1996（平成8）	22,878	57,220
1997（平成9）	22,993	56,717
1998（平成10）	28,183	56,243
1999（平成11）	23,405	55,928
2000（平成12）	23,682	55,688
2001（平成13）	23,883	55,207
2002（平成14）	24,249	54,993
2003（平成15）	24,517	54,800
2004（平成16）	24,647	54,622
2005（平成17）	24,593	53,971
2006（平成18）	24,736	53,782
2007（平成19）	24,881	53,472
2008（平成20）	24,889	52,926
2009（平成21）	24,970	52,664
2010（平成22）	24,963	52,279
2011（平成23）	25,031	51,872
2012（平成24）	25,114	51,580
2013（平成25）	24,950	50,944
2014（平成26）	25,051	50,657
2015（平成27）	25,065	50,182
2016（平成28）	24,972	49,526
2017（平成29）	24,937	49,003
2018（平成30）	24,932	48,459

④登別市の世帯数と人口のうつりかわり  
※人口の減少が続いている。



⑤平成6年に完成した総合福祉センター（しんた21）

## 5 北海道の地図を広げて

### 1. 北海道の地域と方角

北海道のいろいろな「まち」を、方位であらわしてみよう



①富良野市を中心とした八方位図

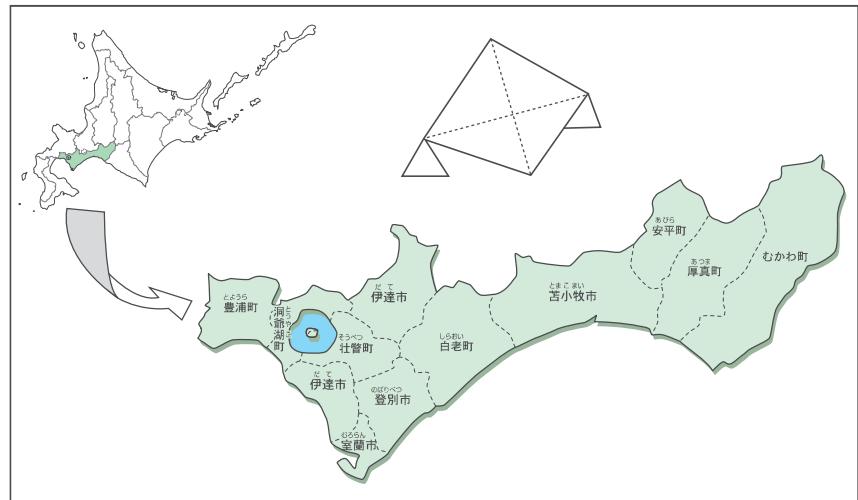
北海道は、九つの総合振興局と五つの振興局に分かれています。わたしたちが住んでいる登別市は、胆振総合振興局管内にあります。

北海道のほぼ中央にある富良野市から見て、主な「まち」がどの方角にあるか調べてみました。

富良野市から見ると、登別市は南西の方角に、網走市は北東の方角にあります。また、北側には宗谷総合振興局、東側には釧路総合振興局、南側には日高振興局があることになります。

### 2. 北海道の形と、わたしたちのまちの位置

登別市とまわりのまちは、北海道のどこにあるか調べよう



①胆振総合振興局の市町村

#### 北海道にある市町村

・35の市、129の町、15の村があります。

#### 胆振総合振興局にある市町村

・四つの市、七つの町があります。



①胆振総合振興局がある  
むろらん広域センタービル  
／むろらん広域センタービル㈱提供

私たちが住んでいる北海道や登別市の形を、地図を見ながら調べてみました。

北海道の形は「ひし形をしているね。」「魚のエイの形みたいだね。」などと話し合いました。

次に登別市のまわりのまちを調べました。登別市は、室蘭市・伊達市・白老町・壯瞥町の四つの市町と、となり合っていることがわかりました。

### 3. 北海道の土地の様子

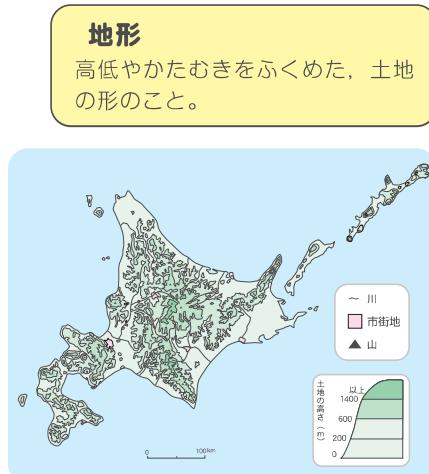
北海道の地形は、どのような様子なのか調べよう



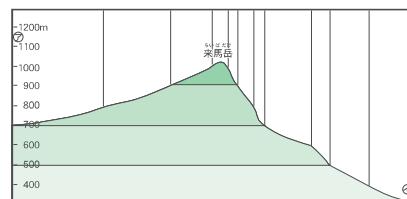
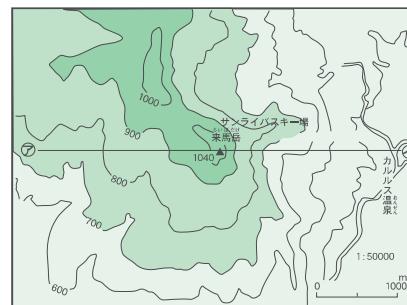
①大雪山系の山々/美瑛町観光協会

北海道でいちばん高いところは中央部で、そこから川が流れ出し、川の流れにそって低い平らな土地が広がっています。

また、主な都市は川ぞいや海ぞいに広がっていることがわかります。



②北海道の地形のようす



③土地の高さの表し方

縮尺を使って地図をみてみよう



左の地図は50000分の1の富良野市の地図です。1cmが500mで表されています。



右の地図は25000分の1の富良野市の地図です。1cmが250mで表されています。



縮尺の数字が大きくなると、地図は大まかなものになります。縮尺の数字が小さくなると、地図はくわしくなります。大まかな道を調べたいときは、数字の大きな縮尺の地図を、まちの様子をくわしく調べたいときは、数字の小さな縮尺の地図を使うと便利です。

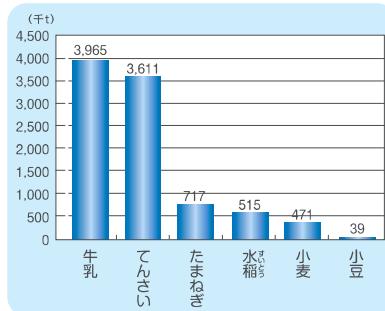
## 4. 北海道の農産物・水産物

### 北海道の農産物・水産物の産地について地図や資料で調べよう

北海道のどこで、どのような作物が作られているか、家畜がかわされているか、魚介類がどれか、地図帳や資料で調べて地図にまとめました。

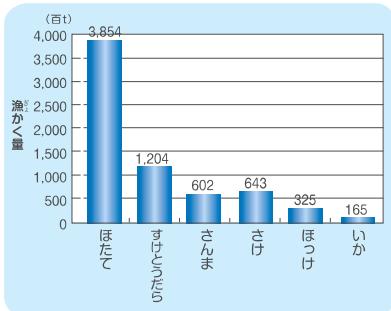


①北海道の主な農産物と水産物



②北海道でつくられるおもな農産物(平成30年)

資料:農林水産省「農林水産統計データ」



③魚種別生産高(水あげが多い魚) (平成30年)

資料:北海道水産林務部「北海道水産現勢(確報)」

## 5. 北海道の工業と働く人

### 北海道の工業のさかんな地域について調べよう

北海道の工場で作られている製品についても調べて、地図にまとめました。

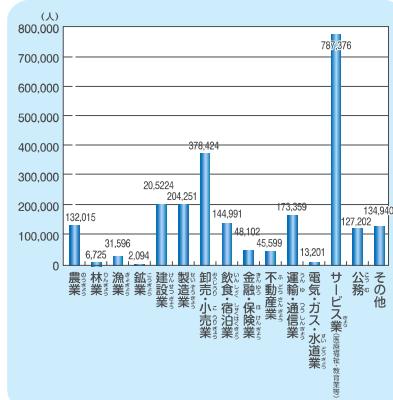


④北海道の主な工業製品

すると、北海道にもたくさんの工場があり、特に、新千歳空港のある千歳市や、大きな港のある苫小牧市や室蘭市には、大きな工場が集まっています、たくさんの人たちが工場で働いていました。

北海道では、自然や地形のとくちようを生かし、さまざまな仕事が行われています。

働く人は、それぞれの立場から、北海道を元気にしようと願い、努力を続けています。



⑤北海道の人たちの仕事(平成27年)

資料:国勢調査

## 6. 北海道の交通

### 北海道の交通のとくちょうについて調べよう

北海道の中を移動するためには、車や電車、飛行機そして船が使われています。また、さまざまな乗り物を利用して道外から訪れる人もたくさんいます。



①北海道の主な交通マップ

(この他に、札幌の地下鉄や函館の路面電車などがあります)

さまざまな交通手段によって、北海道の各地が結ばれています。このつながりが、北海道の人やものの行き来を支えています。



①高速道路



①北海道新幹線



①新千歳空港

## 7. 北方領土

北海道の東の方にある歯舞群島・色丹島・国後島・択捉島は、もともと日本の領土です。しかし、太平洋戦争後にソ連(今はロシア連邦共和国)に占領されました。

その後、日本は、これらの島を返してくれよう求めていますが、今も返されていません。

今後、ロシアとの話し合いが進み、一日も早く北方領土の島々が日本に返されることを願っています。



①北方領土



①知床峠からみえる国後島



①北方領土返還祈念シンボル  
「四島のかけ橋」(根室市 HP)

## 8. まとめ

四方を海に囲まれている北海道は漁業が盛んです。また、都道府県の中で最も面積が大きく、広大な大地では北海道の気候に合わせた農業が行われています。そして、人やものを運ぶ交通網が大切な役割を果たしているのです。

# 6 健康なくらしとまちづくり

## 1. ごみはどこへ

### (1) ごみのゆくえ

#### ①学校のごみの処理

##### 学校からは、どんなごみが出て、どのように処理されているのだろう

わたしたちは、教室などで自分たちが出したごみには、どのようなものがあり、どのようにして処理されているかを調べてみました。

教室のごみ箱には、紙くずや消しゴムを使った後の消しきずなどがすくられています。また、場所によってちがう種類のごみも出されています。

学校から出るごみは、紙くずなどの「もやせるごみ」とガラスや金物などの「もやせないごみ」にきちんと分けて集めておきます。そして、収集車で運ばれていきます。



①学校から出るごみ



①家から出るごみ



①市が指定する  
ごみの収集ぶくろ



①ごみステーション



①ごみ収集車

## ②家のごみの処理

### 家からは、どんなごみが出て、どのように処理されているのだろう

次に、わたしたちは、家から出るごみについて調べるために、自分の家から出るごみの種類を一週間調べてみました。すると、教室のごみとはちがって、生ごみ、ラップやトレイなどのプラスチックごみ、空きびん、空きかん、ペットボトルなどのごみがたくさんありました。家からたくさんのごみが出ていたことに、おどろきました。

これらのごみは、決められた曜日に、決められた場所（ごみステーション）に出すことになっています。ごみステーションに出されたごみは、ごみ収集車で集められます。ごみ収集車が来る日や曜日は、地域ごとに決められています。

登別市には、約1,700か所のごみステーションがあり、その場所は、近所の人たちが相談して決めています。

ごみステーションは、ごみがちらかるなどしてよごれやすいです。また、ごみがイヌやネコ、カラスなどにいたずらされることがあります。ごみステーションがよごれると衛生的によくないので、ごみぶくろの口をきちんとしばったり、決められた日以外は、ごみを出さないようにしたりするなど、みんなで協力し合って、ごみステーションをきれいにしておくように気をつけています。



①市全体の1日に出るごみの量



①市全体の1日に出るごみの量

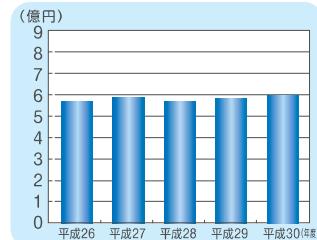
- ・もやせるごみ……週2回
- ・もやせないごみ…月2回
- ・資源ごみ……………週1回
- ・有害ごみ…………月2回
- ・粗大ごみ…………年2回

### ③ごみのゆくえ

#### 集められたごみは、どのように処理されているのだろう

わたしたちは、集められたごみがどこに運ばれるか調べてみました。集められたごみは、幸町の「クリンクルセンター」に運ばれます。もやせるごみは焼却されます。もやせないごみや粗大ごみのうち、家具など再利用できそうなものは修理を行います。

- ・もやせるものは焼却します。
- ・資源ごみや鉄は、リサイクルします。
- ・その他のものは、千歳町のうめ立て地（最終処分場）に運ばれます。



↑ごみ処理にかかった費用



↑クリンクルセンター



↑千歳町のうめ立て地（最終処分場）

クリンクルセンターが1年間に集めるごみの量は、約2万4千トンです。これを処理するために、約6億円ものお金がかかっています。

#### 収集車でごみを集めているおじさんの話

- ごみは、決められた日に出してほしい。
- もやせるごみともやせないごみをきちんと分けて出してほしい。
- ごみのふくろの口は、きちんとしめてほしい。
- きけんなものは、ごみの中に入れないでほしい。
- 蛍光管や体温計など、有害なものがふくまれているごみは、別にしてほしい。



↑プラットホーム



↑ごみピット

### (2) クリンクルセンターの見学

#### クリンクルセンターでは、ごみをどのように処理しているのだろう

わたしたちは、次に、クリンクルセンターをたずねて、ごみがどのように処理されているのか調べることにしました。

クリンクルセンターには、ごみをつんだ収集車がやってきて、ごみの重量を量ったあと、ごみの投げ入れ口からピットにごみを落としていきます。



#### クリンクルセンターの人の話

クリンクルセンターでは、収集車で運ばれてきたごみをピットにためます。次に、ごみクレーンでごみを焼却炉に少しずつ入れ、800度から850度の高い温度でもやします。もやしたあとの灰は千歳町のうめ立て地（最終処分場）へ運び、うめ立てます。

この他にも、クリンクルセンターでは、粗大ごみなどの中から、再利用が可能な家具などを修理して再生品として展示し、市民に提供しています。

また、ごみの焼却によって発生する余熱は市民ギャラリーや市民プールで再利用されています。



↑もやせないごみをくだく機械に入れているところ



↑中央操作室

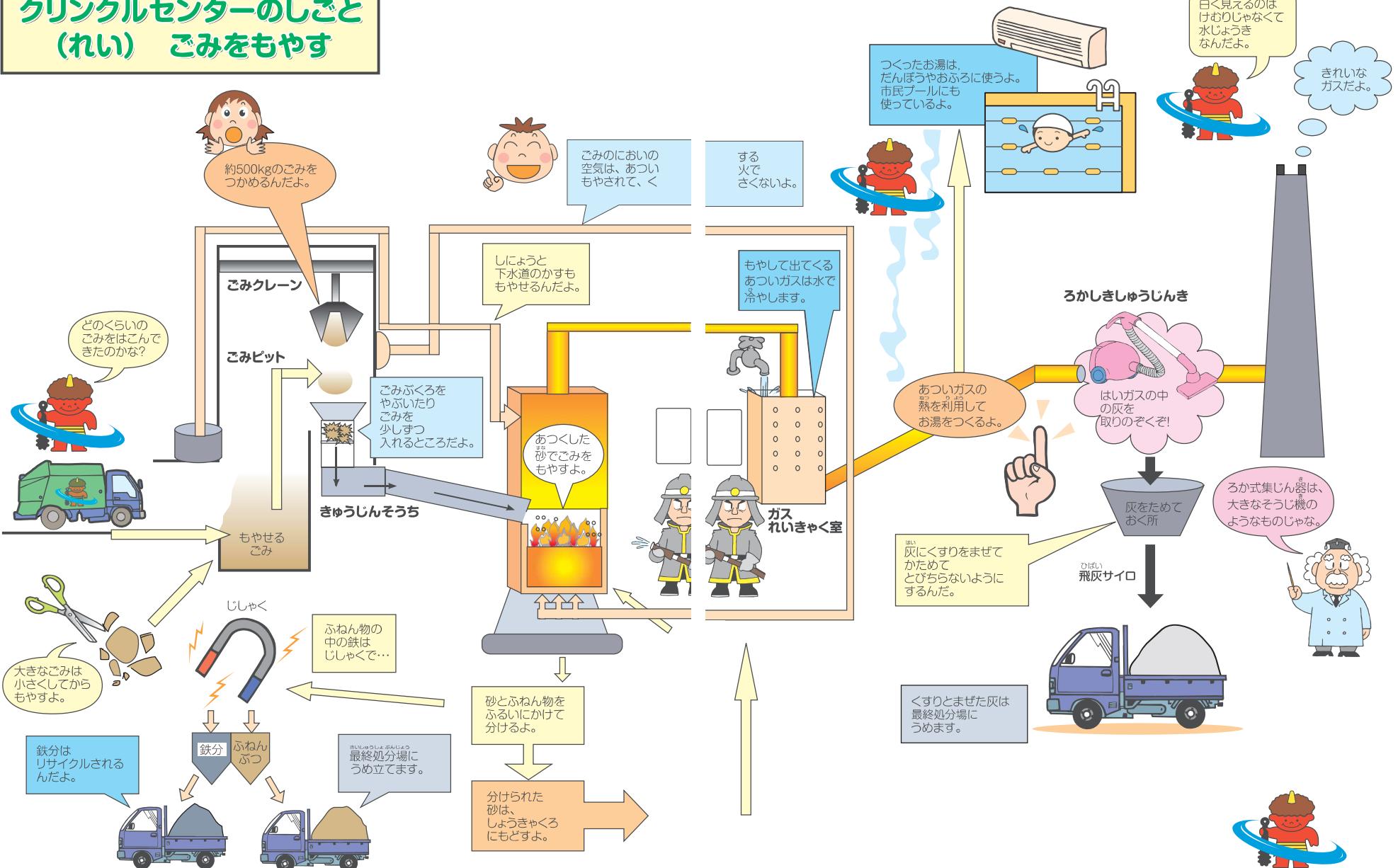


↑びんやかんを選別しているところ



↑市民ギャラリー

## クリンクルセンターのしごと (れい) ごみをもやす



### (3) これからのごみの処理

#### ①ごみ処理のうつり変わり

##### 市のごみ処理のしかたは、どのようにかわってきたのだろう

わたしたちは、ごみ処理のしかたがどのように変わってきたのか、市の係の人に話を聞いて、下のような年表にまとめてみました。

###### ごみ処理の仕事のうつり変わり

年	おもなできごと
むかし	・生ごみは、家の近くで、あなたをほってうめるなどした。また、もやせるごみは、自分の家のストーブでもやすなどした。
昭和35年	・ごみ処理の仕事が町営で始まる（家庭のごみ処理は有料）。
40年	・衛生センター（し尿処理施設）ができる。
44年	・家庭のごみ処理を無料化。
45年	・千歳最終処分場（うめ立て地）をひらく。
53年	・もやせるごみ、もやせないごみの分別収集を始める。
54年	・ごみ焼却炉運転を始める。
57年	・北海道で初めて「空き缶フェア」を行う。9万個集まる。
平成3年	・コンポスト（生ごみをたい肥にする容器）を使うことに助成を始める。
4年	・「登別方式リサイクルシステム」による資源のリサイクルと、ごみをへらすための取り組みを始める。
9年	・クリンクルセンター（新ごみ焼却施設・リサイクルプラザ施設）、最終処分場建設、工事着手。
12年	・クリンクルセンター（新ごみ焼却施設・リサイクルプラザ施設）、最終処分場が完成。
	・家庭ごみの有料化。
	・ごみの分別を、もやせるごみ・もやせないごみ・資源ごみ・有害ごみ・粗大ごみの五分別に変更。
	・「登別方式リサイクルシステム」をはいしし、「資源回収団体奨励金支給制度」を始める。
19年	・コンポストの助成を終了。
21年	・白老町から「もやせるごみ・ペットボトル」の搬入の中止。
23年	・衛生センター（し尿処理施設）を閉鎖。
	・し尿投入施設ができる。
	・「一般廃棄物処理施設（クリンクルセンター）長寿命化計画」を策定し、令和11年度まで延命化する計画をたてる。
26年	・白老町から「もやせるごみ」の搬入が再開。

##### ごみを少なくし、きれいなまちづくりをするために、何ができるかを考えよう

わたしたちの生活は、たいへん豊かになりました。多くの品物が使われるようになりました。それにより、ごみも多くなってきています。

このままでは、ごみ処理に使われるエネルギー資源がむだになってしまいます。また、ごみを処理するためのお金が増えていったり、ごみをうめ立てる土地がすぐにいっぱいになって使えなくなったりするなど、多くの問題が出てきます。近年では、ごみのポイ捨てなどが原因で、海にプラスチックごみが流れ、生き物が住みにくくなっています。そこで、最近は、「3R」の考え方で、ごみをへらす工夫をしています。

「3R」とは、ごみそのものをへらす「Reduce(リデュース)」、くり返し使う「Reuse(リユース)」、ゴミを資源に変えて再利用する「Recycle(リサイクル)」の3つのRを意味する言葉です。

ごみを少なくし、きれいなまちをつくるために、わたしたちは、どうしたらよいのか考えてみましょう。

<<http://www.city.noboribetsu.lg.jp/categories/lifeevent/gomi/>>



① 登別市ごみ分別辞典

##### じてん 登別市ごみ分別辞典

「ごみの分別の仕方」や「出し方」、「リサイクルについて」などが書かれています。市役所、各支所またはクリンクルセンターにあります。

##### ペットボトルや缶のリサイクルの様子



## ごみの正しい分け方と出し方の例

### ● もやせるごみ…週2回



### ● もやせないごみ…月2回



※木・竹類  
(径:10cm以下、長さ:40cm~140cm)

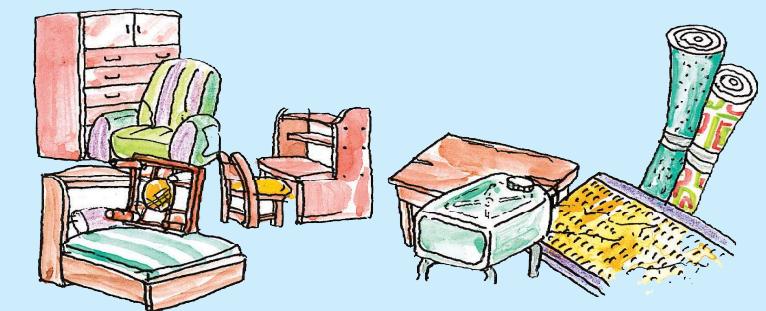
※家具・建具・寝具類  
(長さ:140cm以下、重さ:10kg以下)

## ごみの正しい分け方と出し方の例

### ● 資源ごみ…週1回



### ● 粗大ごみ…年2回、電話で申し込み



### ● 有害ごみ…月2回

水銀などの有害物質を含むもの



## 2. 水はどこから

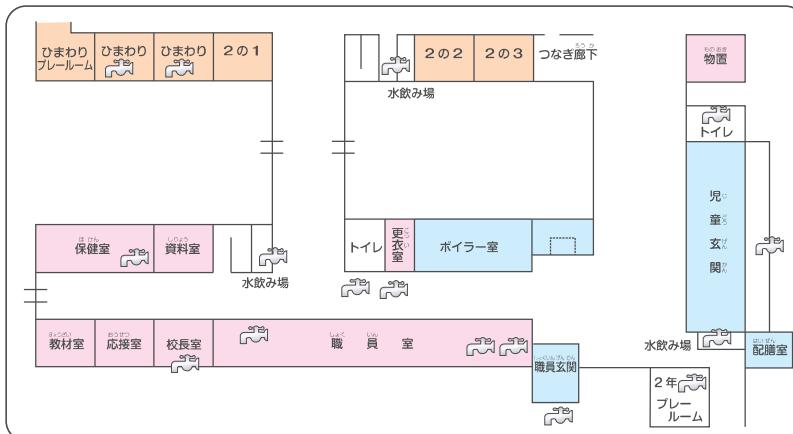
### (1) 水の使われ方

#### ①こんな所にもじゃ口が…

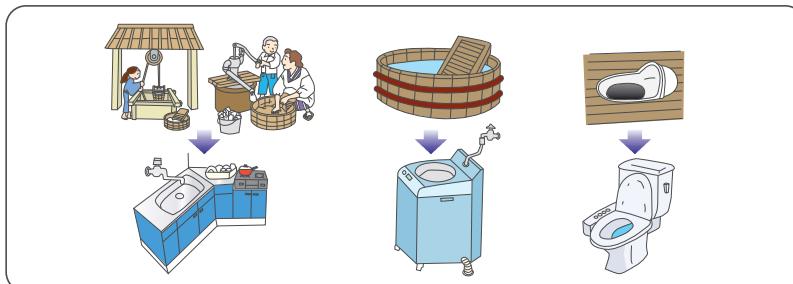
##### 学校では、どんなことに水を使っているのだろう

わたしたちは、みんなで分たんして、じゃ口のあるところと、その数を調べ、学校の平面図に書きこんでみました。

学校では、たくさんあるじゃ口から飲み水、手あらい、そうじなどに水を使っています。



①学校のじゃ口の数調べ



①水の使い方の変化

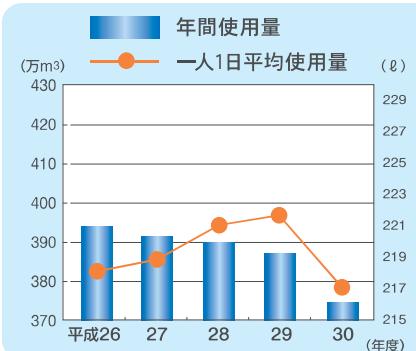
### ②登別市の水の使用量

#### 登別市の水の使用量は、どのように変化しているのだろう

学校や家など、市全体で使う水の量を調べてみると、一人1日約217リットルの水を使っています。

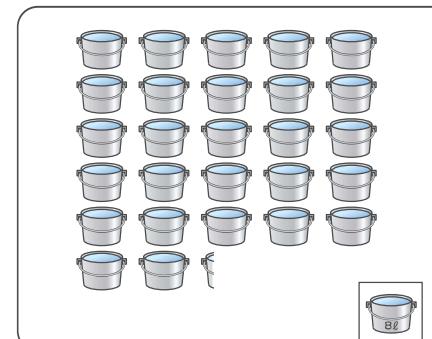
市の人口はそれほど減っていませんが、水の年間使用量や一人1日あたりの使用量は最近では減ってきてています。

これは、各家庭が水を節約しているからだと考えられます。

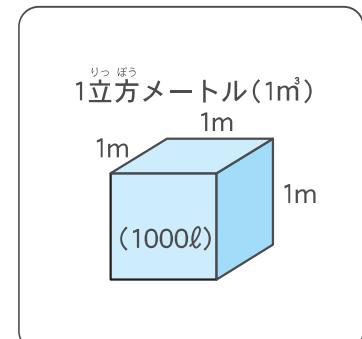


①水の年間使用量と一人1日あたりの使用量

市全体の水の使用量は、一人1日あたり、2リットルのペットボトルで約108.5本にもなります。



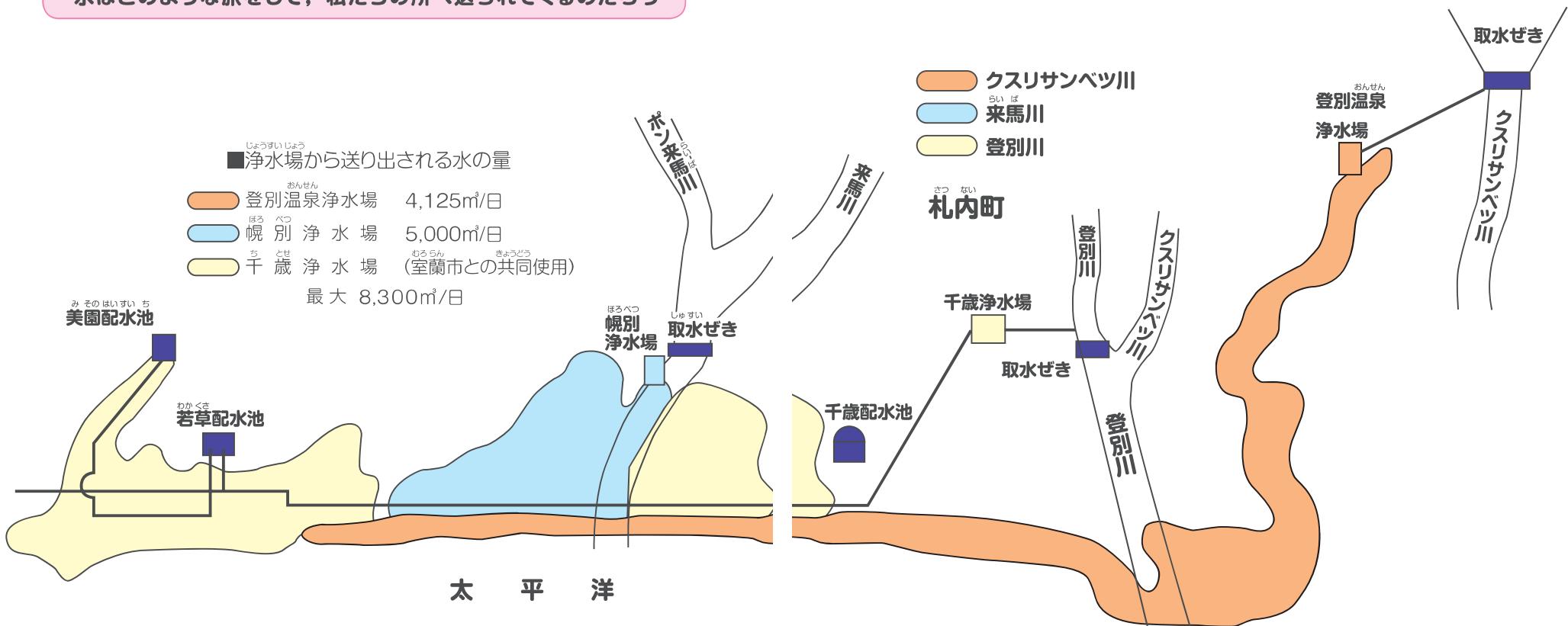
①217リットルの水の量



①1立方メートル (1m³)

### ③水が通る道

水はどのような旅をして、私たちの所へ送られてくるのだろう



毎日使う大量の水は、どこから、どのようにして、わたしたちの学校や家に送られてくるのか調べてみました。

登別市で使っている水は、それぞれの水源から幌別淨水場や千歳淨水場、登別温泉淨水場に送られ、きれいにされます。

そこから、配水池に送られ、水道管を通って、わたしたちのもとにとどきます。

登別市は、鷺別川、幌別川、来馬川、登別川など豊かな水の資源に恵まれているため、室蘭市でも、これらの水が利用されています。

#### 水道をたどっていくと

→ じゃ□	→ 水道管	→ 配水池
→ 浄水場	→ 取水せき	→ ?
		この先は、どうなっているのかな？



幌別浄水場



千歳浄水場



浄水場の沈殿池

## (2) 浄水場の見学

### ① 水をつくる工場

#### 浄水場では、どのようにして水をきれいにしているのだろう

わたしたちは、つぎに、幌別浄水場をたずねて、浄水場がどんなはたらきをするのか調べました。

浄水場には、広くて、プールのような池がありました。わたしたちは、なぜ、このようなものが必要なのか、浄水場の係の人に聞いてみました。

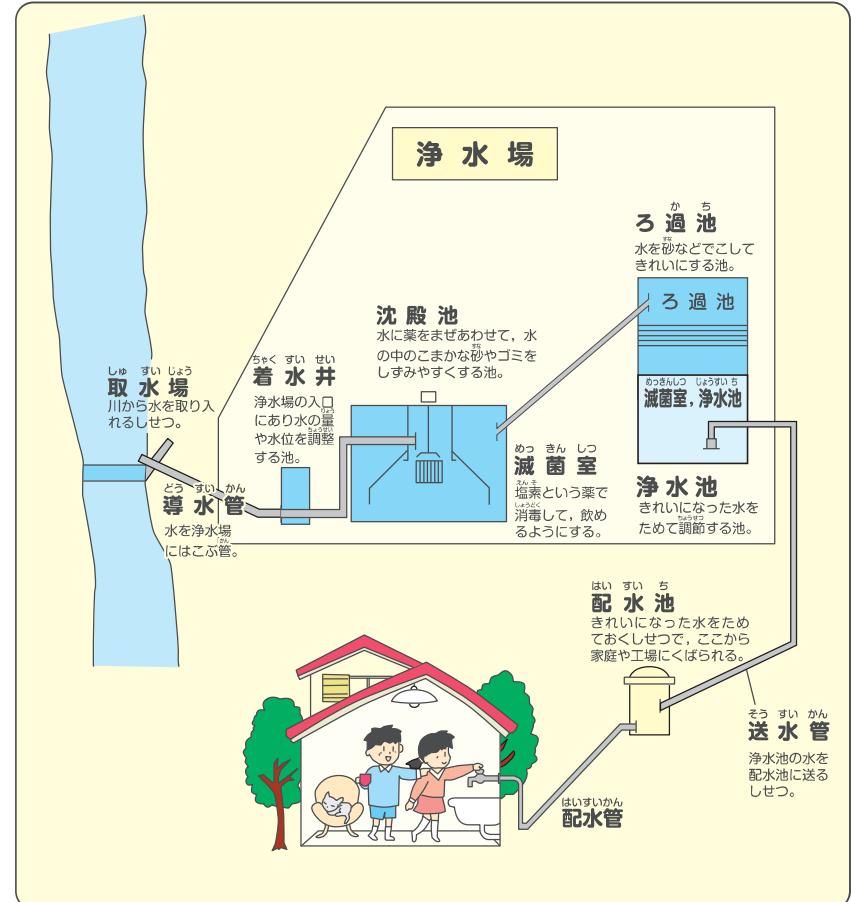
#### 浄水場の係の人の話

川から取り入れた水は、そのままでは飲めないので、ここできれいにし、飲めるようにするのです。そのために、お金と人手がたいへんかかります。

わたしたちは、係の人の話を聞いて、浄水場は、まるで「水を作る工場」のようだと思いました。



↑ 1 m<sup>3</sup> の水を作るのにかかる費用のうつりかわり



↑ 浄水場のしくみ

幌別ダム



## ② 水のふるさと

ダムや森林は、どのようなはたらきをしているのだろう

わたしたちは、幌別ダムに行って、ダムのはたらきについて調べました。

### 幌別ダムの係の人の話

このダムは、高さが22.5mで7階建てのビルと同じ高さがあり、長さは366mあります。

貯水池の一番深いところは、約20mあり、貯めることができる水の量は808万m<sup>3</sup>で、札幌ドーム約5杯分に当たります。

ダムは、大雨などのときに水を貯めて、洪水の被害から下流を守るためのはたらきをしていることが多いですが、ほかにも、農業用、水道用、発電用など、ダムによって様々な役割があります。

幌別ダムは、貯めた水を工業用水として室蘭地区の工場へ送るため（配水管の長さは約35kmあります）に造られたダムで、洪水の被害から下流を守る役割はもっていません。



幌別ダムの水

登別市内には、鷲別川、幌別川、来馬川、登別川などの大きな川が流れ、豊かな水の資源に恵まれています。

それらの川の上流に目を向けると、鷲別岳・カムイヌプリ・来馬岳・オロフレ山などが連なり、豊かな緑（森林）に囲まれていることがわかります。



幌別川上流



幌別来馬川上流

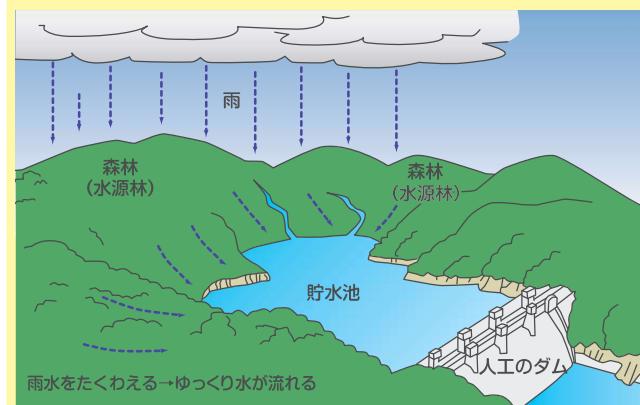
この広い森林が「緑のダム」とよばれている「水源林」なのです。

森林は、ダムのように、雪どけ水や雨水をたくわえるはたらきをしています。

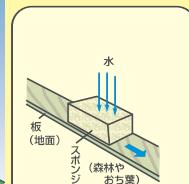
たくわえられた水がわき水として地表にあらわれ、沢にそって流れ出し、その小さな流れが集まって、川ができるのです。

また、木の根が、土や砂をしっかりおさえ、流れ出すのをふせぐなど、森林は、わたしたちのくらしを守るはたらきもしています。

### 水源林のはたらき



幌別川上流



スポンジがあると、水は、少しずつゆっくり流れ、スポンジの中にもたくわえられる。

### (3) 使った水のゆくえ

#### ① 下水の旅

##### 使った水は、どこへ行き、どのように処理されるのだろう

わたしたちが家庭で使ったあとのよごれた水や雨水を合わせて「下水」とよびます。

登別市では、家庭で使ったあとのよごれた水などをきれいにするために、昭和57年から下水道工事をはじめました。

そして、平成2年10月に、よごれた水をきれいにして川や海に流すことが、幌別地区からできるようになりました。

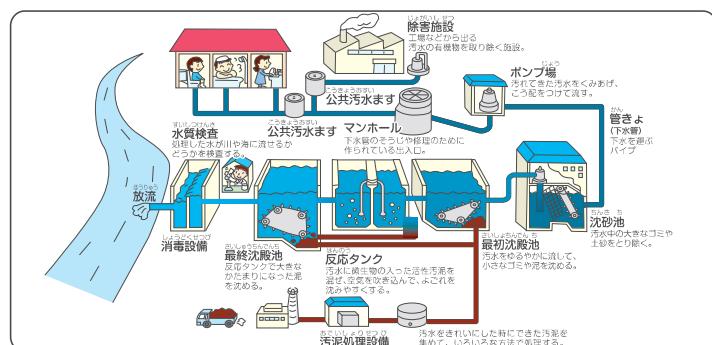


①若山浄化センター



②センター内部の様子(最終沈殿池)

わたしたちが家庭で使ったあとのよごれた水は下水管を通して「若山浄化センター」(下水終末処理場)というところに集められます。センターでよごれを分解し消毒をして、きれいな水に生まれ変わり、川や海に流されます。



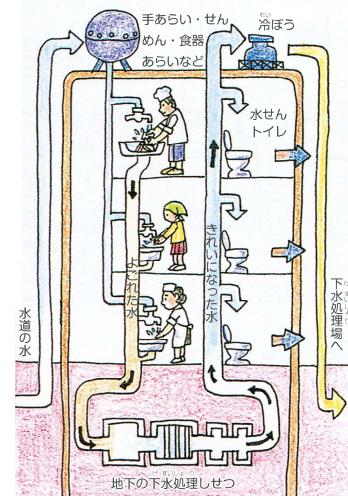
③下水終末処理場の仕組み

**上水** 飲み水のことを「上水」とよび、いつも使っている水道を「上水道」といいます。

若山浄化センターで取りのぞかれた汚泥をクリンクルセンターに運ぶ様子



下水道は、ごみや油が苦手なので、台所の流しに、生ごみやてんぱら油を流すと、下水管がつまったり、しせつがこわれたりします。



④ビルの下水処理しせつ

##### 汚泥

下水にふくまれるよごれたごろのようなものです。

##### ビルの下水処理しせつ

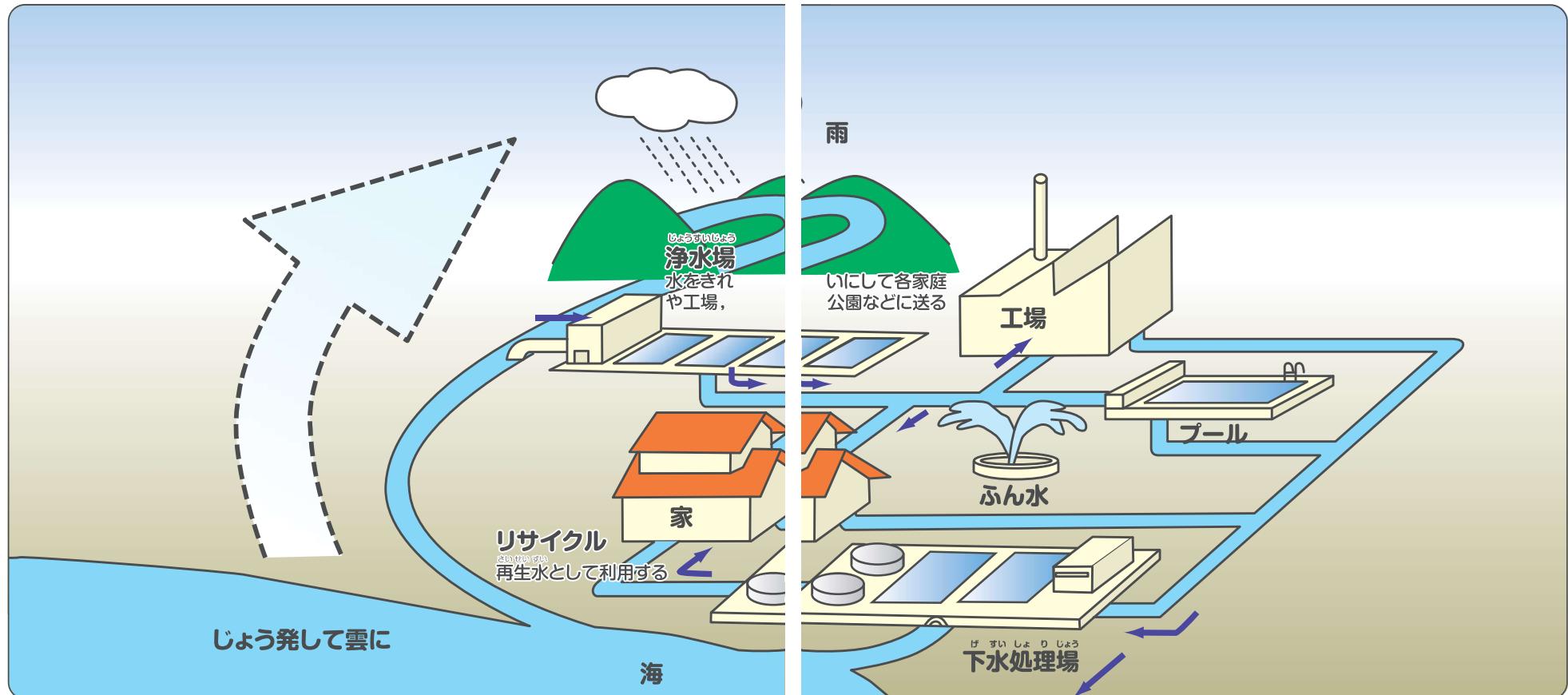
最近つくられたビルには、地下に下水を処理するしせつがあるものが多くなっています。

そのしせつで下水をきれいにし、冷房や水洗トイレなどの水に再利用しています。

このように、一度使った水をくり返し利用して、できるだけ、水を節約するよう工夫しています。

##### 水を再利用するわけ

- ①使える水にはかぎりがあり、むだなく使うようになります。
- ②生活が便利になるにつれ、全国的に水の使用量がふえてきているため。
- ③なるべく、ダムなどをつくらないですむようにするために（ダムをつくると、たくさんの木が切られます）。



まわっている水の図

これまで学習したように、水は、

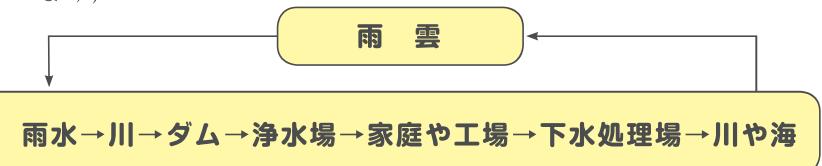
雨水→川→ダム→浄水場→家庭や工場→下水処理場→川や海

という流れになっています。

川の水は、海に注ぎ込みます。

海の水は、じょう發して、雨雲になります。

つまり、



というように、水はまわっているのです。

きれいな水を守り続けるため、わたしたちに何ができるか考えてみましょう。

## 7 自然災害にそなえるまちづくり

### 1. 地震・津波にそなえるまちづくり

#### (1) 地震・津波の被害

##### 地震・津波について調べよう

近年、大雨や台風、地震などの自然災害による大きな被害が日本各地で起こっているというニュースをよく聞きます。わたしたちは、その中でも地震について調べることにしました。

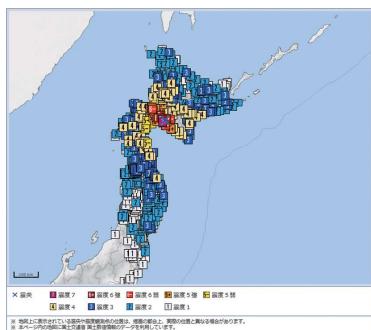
学校の図書室やインターネットで調べてみると、平成になってからだけでも大きな地震が何度もあり、大きな被害が出ていることが分かりました。

##### 北海道胆振東部地震

北海道胆振東部地震は、2018年9月6日朝方の3時7分、胆振地方中東部を震源として発生した大きな地震です。地震の規模はマグニチュード6.6 (Mw)，最大震度は震度階級で最も高い震度7で、北海道では初めて観測されました。各地で土砂崩れや家屋の倒壊、液状化現象などにより、大きな被害が発生しました。また、北海道全域で停電が発生しました。

登別市では、観測史上初めて震度5弱を記録し、市内全域でおよそ2日間にわたり停電が発生しました。

※ Mw：モーメントマグニチュード(地震の大きさを表す単位)



④ 液状化現象の様子

③ 2018年9月6日  
「平成30年北海道胆振東部地震」の震度分布図  
(気象庁ホームページより)

北海道各地では土砂崩れが起きたり家屋が倒壊したりし、震源に近かった厚真町では大勢の人が土砂崩れにより亡くなるなど、大きな被害が出ました。

登別市内の家屋の被害は、半壊が1棟、一部損壊が47棟ありました。



① 厚真町を空から見た様子

／国土交通省北海道開発局提供



② 停電の様子

北海道全域で、ブラックアウトとよばれる大規模な停電が起こりました。登別市では、市民会館、婦人センター、鷺別公民館、鉄南ふれあいセンターの市内4カ所に自主ひなん所を開き、水や食料、毛布、携帯電話充電サービスなどを提供しました。

##### 東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）

東北地方太平洋沖地震は、2011年3月11日、宮城県牡鹿半島の東南東沖を震源として発生した地震です。日本における観測史上最大のマグニチュード9.0 (Mw) を記録しました。この地震により大津波が発生し、東北地方と関東地方の太平洋沿岸部に壊滅的な被害をもたらしました。また、地震と津波による被害を受け、大きな原子力発電所の事故も起こりました。登別市では、震度3の地震が発生し、登別漁港には1.0 mの津波がおしあせました。



③ 東日本大震災の被害の様子

## (2) 地震・津波にそなえる

### ① 大きな地震が起こったら

#### 地震・津波に対してのそなえを調べよう



わたしたちは、通学のと中で大きな地震にあった場合にそなえ、家人といっしょにひなんする場所や、津波にそなえるために土地の高さをしめした看板をたしかめました。そのあと、思ったことや考えたことをみんなで話し合いました。

「いつ、どこで、地震にあうかわからないよ。」

「ひなんする場所は、地域の中であらかじめ決められているのかな。」

わたしたちは、地震や津波へのそなえについて知りたいことをまとめました。

そして、登別市では、ほかにもどのような取組をしているか調べてみることにしました。

#### 学習計画

##### ○調べること

- ・地震にそなえる地域の仕組み
- ・地域にある地震にそなえるしせつ
- ・過去に地域で起った地震
- ・地域にくらす人々のそなえ

##### ○調べ方

- ・市役所の人に話を聞く。
- ・市の広報パンフレットなどの資料で調べる。
- ・町内会など、地域の人に話を聞く。

### ② いつ起ころかわからない地震にそなえて

#### 大きな地震にそなえて、登別市ではどんな取組が行われているのだろう

わたしたちは、登別市が地震にそなえて、どんな取組を行っているのか、調べてみることにしました。そこで、市の係の人に電話をし、防災計画について教えていただきました。

#### 市の係の人の話



登別市では、市民の生命と財産を守るために、国や北海道と協力し、大きな災害にそなえた防災計画を立て、様々なことに取り組んでいます。学校の校舎を地震に強い建物にするための工事も、この計画にもとづいて行われています。



④ 学校の耐震補強工事の様子

#### 登別市の防災計画

##### ○市役所がすること

- ・災害へのそなえを市民によびかける。
- ・災害が起きたときの対応について市民によびかける。
- ・北海道や警察など様々な機関との協力の仕組みをつくる。

わたしたちは、地震にそなえて、地域や市が国や北海道と協力し、計画を立てて様々なことに取り組んでいることが分かりました。

地震が起きたときにそなえて、自分たちがどう行動すればよいのかをみんなで話し合ってみましょう。

### ③大切な情報

#### 登別市は、地震・津波に関する情報をどのようにして伝えているのだろう

わたしたちは、大きな地震が起ったときに、市が住民を守るために、特に大切にしていることは何かを教えていただきました。

「正確な情報を早く集めることを大切にしています。そして、住民の方に、情報を早く、確実にとどけることに努めます。」



##### 市の係の人の話

大きな地震が起った直後の地震の規模などの情報は、市に伝えられます。同時に、津波についての情報や地震での被害の情報を集めたり、集めた情報をもとに今後の避難について防災行政無線やテレビ、ラジオ、広報車、携帯電話への防災メールなど、複数の方法で住民に情報を伝え、身の安全を守ってもらっています。

また、被害の大きさにより、北海道や国に必要な支援を求めていきます。

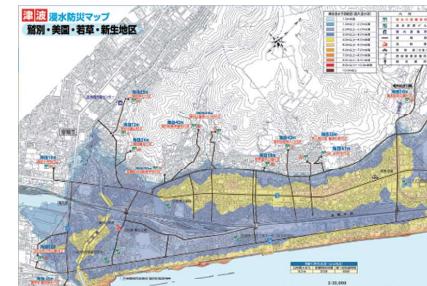


「市では地震にそなえて、日ごろから住民に様々な情報を伝えています。」  
市の係の方はそう言って、市の防災マップを手に取り、

「この地図は、ハザードマップと言います。市が作り、住民の方に配っています。」

と教えてくださいました。

わたしたちは、市の防災マップとハザードマップを見せていただきました。



### ④住民の命やくらしを守るために

#### 地震・津波にそなえて、市はどのような施設や設備を整えているのだろう

わたしたちは、大きな地震が起ったら、どこへひなんしたらよいのか、話し合いました。

「ひなん所と書かれた看板がある場所に、ひなんしたらよいのではないか。」

「ひなん所の看板は、学校や公園にあるよ。あちこちにあるのかな。」



##### 市の係の人の話

大きな地震が起ったら、ものがたおれたり、落ちたりしてとても危険です。まず身を守る行動をとってください。ゆれがおさまったら、今度は津波が来るかもしれません。そのときは、近くの高台ひなん場所ににげてください。

また、高台ひなん場所ににげる時間のないときは、指定されている津波ひなんビルににげてください。

その他市内には、市が計画的に指定したひなん所がいくつもあります。



↑高台ひなん場所へのゆうどう看板



↑場所を知らせる看板（津波ひなんビル）

## ⑤地域にくらす人々のそなえを調べよう

### 住民は、災害にそなえてどのような取組をしているのだろう

わたしたちは、住民が災害にそなえてどんな取組をしているかについても調べてみました。



#### 連合町内会の方の話

わたしたち連合町内会は、日ごろから災害にそなえた取組を行っています。例えば、いざというときのために住民の方にひなん所の場所を確認してもらったり、非常用持出品の準備をお願いしたりしています。非常用持出品とは、ひなんするときに持ち出す最小限の必需品のことです。リュックなどにまとめ、すぐ持ち出せるように準備することが重要です。また、町内会のひなん所の防災用品の点検を行ったり、備蓄品の確認も行ったりしています。

胆振東部地震のときも、ガソリンスタンドやお店で多くの行列が見られました。災害時にそなえて、日ごろから必要なものを準備しておくことが大切です。

町内会でも、防災用品などいろいろな準備をしていることがわかりました。ほかに大切なことはあるかうかがうと、次のように教えてくださいました。



#### 連合町内会の方の話

「自助・共助・公助」が大切です。自分の命を守ることが最も大切なことですが、自分だけでなく、近所の方にも声をかけて、助け合ってほしいと思います。そのためには、日ごろからの声かけが大切です。

また、防災意識を高めるために防災訓練も行っています。婦人部の方が中心となって、たき出し訓練も行っています。

このように、住民一人一人が日ごろから災害にそなえた取組を行っていくことが、一番大事なことだと思います。

### 自助・共助・公助とは

#### ○自助・・・「自分の命は、自分で守る」

これが、防災の基本です。自分の手で、自分や家族、財産を守るそなえと行動を「自助」といいます。

#### ○共助・・・「となり近所で助け合って地域の安全を守る」

これが、地域を守る、最も効果的な方法です。近所の人たちが力を合わせてひなんする活動などを早く始めるほど、被害を小さくおさえられます。住民が協力して助け合い、地域を守るそなえと行動を「共助」といいます。

#### ○公助・・・「市役所や自衛隊、警察、消防など国や北海道、市が住民の命や財産を守る」

災害発生時に、市などがすばやい情報提供、救助活動やひなん所の開設、救援物資の支給などを行うことを「公助」といいます。

胆振東部地震では、のぼりべつ元鬼協議会や市内の飲食店の人たち、日本工学院の学生などがたき出しを行いました。地震の次の日の9月7日には、昼食に豚汁とおにぎりなど、夕食はカレーライスなどのあたたかい食事が、ひなん所の人たちにふるまわれました。

老人憩の家などを自主ひなん所として開き、発電機を活用してテレビを見られるようにしたり、携帯電話の充電ができるようにしたりした町内会、名簿を使って無事かどうかの確認に取り組んだ町内会もありました。

日ごろから、地震や津波へのそなえなど、自分たちにできることは何か、考えてみましょう。



④ひなん所でのたき出しのようす



④保管された市の災害備蓄品



④電気をつくる発電機

## 1. 海上保安庁の仕事

わたしたちの住んでいる日本は、まわりを海に囲まれています。人や物を船で運んだり、みんなが食べる魚をとったり、わたしたちの生活にとって海はとても大切です。海上保安庁は、その大切な海を毎日、休むことなく守っています。

### (1) 海の安全を守る

海の上で起きる事件や事故を防いだり解決するために、広い日本の海を巡視船や航空機が、24時間パトロールをしています。



### (2) 青い海を守る

青い海を守るために、災害が発生し油が海に流れた時の回収や海岸に流れ着いたゴミの調査、工場からのはい水の調査などを行っています。



### (3) 生命を救う

海で事故が起こった時に、人や船を助ける救助活動をします。海での救助では、ヘリコプターから降りたり、海にもぐったりすることができる潜水士が活躍しています。

### (4) 交通の安全を守る

海を走る船にも交通ルールがあります。海上交通センターでは、船の様子をレーダー画面で見守り、パトロールをしている巡視船と協力して交通整理を行います。

船の位置を確かめたり、目的地までの航路を知りたいときに必要なのは、灯台やブイなどの航路標識です。航路標識の管理も海上保安庁の仕事です。



## 救助の様子



## 2. 118番のしくみ



### 海上保安庁の人の話

警察の110番、消防の119番と同じように、海上保安庁にも緊急通報番号118番があります。海で事件や事故が起こった時は、118番に電話をかけて、いつ、どこで、何が起きたのか、落ち着いて連絡しましょう。

## 3. 室蘭海上保安部

室蘭海上保安部は、わたしたちの住む登別市やとなりの室蘭市、白老町などの海の安全を守っています。

### 室蘭海上保安部所属の巡視船・巡視艇



## 8 地域で受けつがれてきたもの

わたしたちが住んでいる登別市では、毎年8月になると「地獄まつり」が行われます。わたしたちは地獄まつりの写真を見ながら、思ったことや気がついたことなどを発表しました。



「多くの人がおどったり、見にきたりしてとてもにぎやかだね。」  
「毎年約5万ものお客様が来ているそうだよ。」  
「ぼくの友だちには、おどりに参加している人もいるよ。」  
「どうしてこんなにたくさんの人がおとずれるのかな。」  
「地獄まつりはどのようにして続いてきたのかな。」

わたしたちは、地獄まつりのことを調べてみることにしました。

### 1. わたしたちのまちのまつり

#### (1) 地獄まつりについて調べよう①

##### 地獄まつりはどのように始まったのだろう

わたしたちは、地獄まつりについて、登別国際観光コンベンション協会の方にお話を聞いてみました。



##### 国際観光コンベンション協会の人の話

登別温泉にもっと多くのお客様が来てくれる様に新しいイベントを開きたいと話し合われ、第1回目の地獄まつりが開かれたのは、1964(昭和39)年のことです。3日間で1万5千人のお客様が来たそうです。  
現在では、北海道を代表する夏祭りとして全国にも知られ、毎回5万人以上の方がおとずれるお祭りに成長しました。  
お祭りを続けることができたのは、何か月も前から準備をしてくれる多くの市民のみなさんの熱い思いがあってのことと感謝しています。

1949(昭和24)年…登別温泉をふくむ地域が「支笏洞爺国立公園」に指定される。  
1951(昭和26)年…地獄まつりのもとになる「温泉祭り」が開かれる。  
1964(昭和39)年…第1回目の「登別地獄まつり」が開かれる。  
1976(昭和51)年…現在も使われている「鬼みこし」が初めて登場する。  
1984(昭和59)年…「音と光によるレーザーショー」が初めて開かれる。  
1990(平成2)年…全国から鬼に関連したものを集めた「鬼サミット」が開かれる。  
1993(平成5)年…「えんま大王からくり山車」が登場する。  
1994(平成6)年…「えんま大王前結婚式」が初めて開かれる。  
2013(平成25)年…半世紀(第50回)を記念し、まつりの期間が3日間にもどされる。  
2014(平成26)年…アニメ番組と協力した取組を行い、全国からファンが集まる。

❶地獄まつりにかかわるできごと

## (2) 地獄まつりについて調べよう②

### 地獄まつりはどのように続いてきたのだろう

次に、わたしたちは地獄まつりのおどりやみこしに参加したことのある市民の方にお話を聞いてみました。



私は「**鬼おどり**」や「**鬼みこし**」によく参加しています。同じ職場の人たちと声をかけ合っていっしょに参加しているので、毎年地獄まつりの時期が近づいてくるのが、とても楽しみですよ。

「鬼おどり」も「鬼みこし」もたくさんの観光客のみなさんが楽しそうに見てくれるで、私たちも楽しく参加しています。「鬼みこし」はかなり重いので、かつぐのはとても大変です。でも、すぐ側で見ているお客様が大きな声でかけ声をかけてくれるので、とてもうれしくなりますよ。



市内には、地獄まつりに参加している小学校や中学校もあるね。



いろいろな人たちが協力して、おまつりをもり上げているんだね。

#### 地獄まつりに参加する小学生や中学生



登別小学校オニッコマーチングバンド



登別中学校 熊舞

わたしたちは、いただいたり集めたりした資料を使って、地獄まつりの内容について調べてみました。



#### 鬼みこしあばれねりこみ

重さが1トンもある「鬼みこし」は、地獄まつりの名物の一つです。

今のみこしは、第13回のおまつりから使われているものです。ふだんはJR登別駅前に置かれています。



#### 鬼おどり大群舞

第1回から行われている「鬼おどり」は、温泉の「ゆげ」や鬼の「つの」など、登別温泉を連想させるものを表したおぼえやすいふりつけで、初めて見るお客様も楽しく参加するそうです。



#### えんま大王からくり山車

第30回から登場した「からくり山車」は、大きな音とともに目が光ったり、うでをふり上げたりするしかけです。おまつりが終わると「えんま堂」に置かれています。



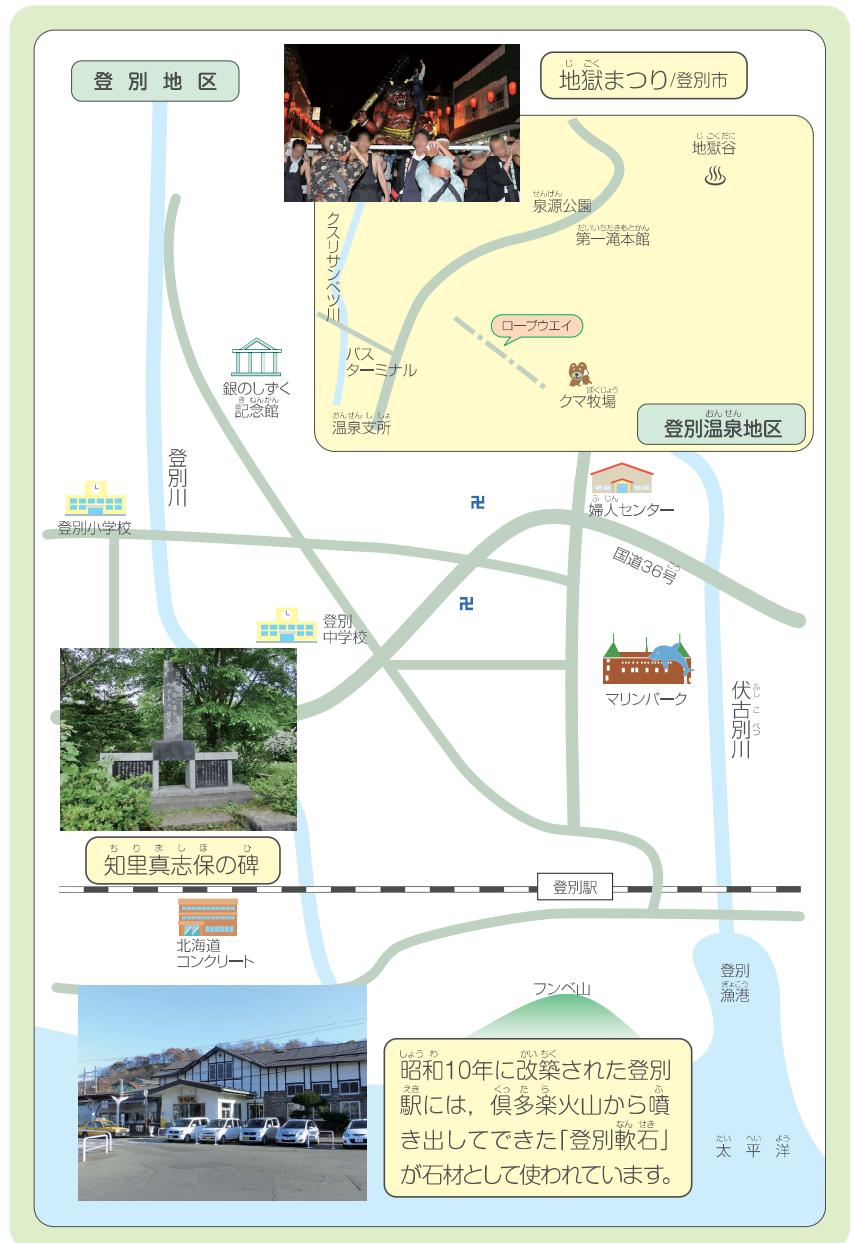
地獄まつりは、たくさんのお客さんに来てもらえるように、いろいろな工夫をしながら続いてきたんだね。



地獄まつりのほかにも、古くから伝わる行事や建物なども調べてみたいね。

## 2. まちに伝わる昔

地域の古い建物や記念碑、行事などを調べてみましょう。調べたことは、パネルにしてけいじ板にはりましょう。



## パネルの作り方

- ①自分たちでさつえいしたり、市のパンフレットなどから切りぬいたりした写真を大きな紙にはる。
- ②調べてきたことをまとめて、書きこむ。
- ③写真の場所がどこなのか、地図をつけるとよいでしょう。



**幌別地区**

昭和33年、社宅がならぶ風景(富士町)。左奥の区画には現在市民会館が建っています。

幌別駅の方向を見た写真

幌別川

幌別ダム

幌別西小学校

明日中等教育学校

幌別西小学校

幌別西中学校

市民会館

来ら馬川

幌別中学校

幌別駅

登別市役所

幌別小学校

刈田神社

富岸小学校

緑陽中学校

登別青葉高校

登別市総合体育馆

国道36号

幌別東小学校

馬頭観世音の石碑  
北海道の開拓に馬はかせないので、開拓の苦労をともにした馬をこうしてまつたのでしょう。  
この石碑にも、登別軟石が使われています。

現在は、刈田神社の大祭の日に幌別地区をまわる鉱山獅子舞

# 9 昔から今に続くまちづくり

わたしたちが住む登別市には、いつごろから人が住み始めたのでしょうか。土の中から昔の人たちが使った道具が見つかることから、とても前からこの地に住んでいたことがわかります。

登別市は、縄文文化の人たちからアイヌ民族、そして明治時代になって住してきた宮城県白石市の仙台藩片倉家の人たち、四国や淡路島の人たちなどの歴史や文化の積み重ねによってできています。

わたしたちが住むまちの歴史について調べてみましょう。

## 登別市の歴史について調べよう



## 1. アイヌ民族の歴史

### (1) 縄文文化～擦文文化

縄文文化期（北海道では1万年前）の人たちは、動物や魚をとったり植物や木の実を採集したりして生活していました。地面に穴を掘り柱を立てて屋根をかけるたて穴式住居に住み、縄の模様をつけた土器を使っていました。登別市内には、地面の下に「遺跡」とよばれる生活の跡がたくさんあり、当時使っていた土器や石で作ったナイフなどが見つかっています。

縄文文化期（2,500年前）になると本州から鉄を、擦文文化期（1,400年前）には、漆の器や刀などの道具も手に入れ、石器はほとんど使われなくなりました。



①縄の模様や力二のはさみの  
ような模様のある縄文土器  
／登別市 川上B遺跡



②縄文文化のシカをとるための  
落とし穴／登別市 富岸川右岸遺跡



③川上A遺跡で見つかった  
縄文文化の土偶／西嶋崎市氏所蔵

### (2) アイヌ文化

800年前くらいになると、自分たちで道具を作るほかにも、交易によっていろいろなものを手に入れるようになり、そのはんいは、遠くサハリンや千島列島にまでおよんでいました。

そのころ、北海道は和人に「蝦夷地」とよばれ、渡島半島の南部に本州からうつり住んだ和人が、アイヌ民族と交易をはじめました。その後、和人は自分たちの都合のいいように交易するようになったため、アイヌ民族の不満が高まり、コシャマインの戦い（1457年）やシャクシャインの戦い（1669年）が起こりました。

300年前くらいになり、交易が和人の商人にまかされると、商人はもうけるため、アイヌ民族に漁をさせたり、遠くまでニシン漁などに行かせるようになり、アイヌ民族の生活は大きな影響を受けました。

また、天然痘という病気が本州からもちこまれたために、多くのアイヌ民族が亡くなりました。



④本州からの交易品／登別市郷土資料館

本州からは漆の器(左)や儀礼用の刀(右)、鉄なべ、酒、タバコなど、北海道からはサケなどの魚介類やコンブ、ヒグマやシカの毛皮、ワシの羽などが交易品となりました。

### (3) 明治時代

明治時代（1868年）になると、政府は蝦夷地を「北海道」として日本的一部分にしました。政府は法律を定め、アイヌ民族は山や川で狩りや漁が自由にできなくなり、生活が苦しくなって漆の器などの宝物を手放す人も出てきました。

また、名前も和人風に変えさせられたり、いれずみなどの風習も禁止されたりしました。学

校では日本語が教えられ、アイヌ語を話せる人も少なくなりました

そのような中、登別のアイヌ民族、カンナリキ（和名 金成喜蔵）らは自分たちの子どものために学校をつくろうと立ち上りました。そして明治21年（1888年），地元のアイヌ民族とキリスト教の宣教師であったジョン・バチラーにより、アイヌ民族の子どもたちのための学校「愛隣学校」がつくれられました。

## ○アイヌ語の地名

登別市の名前は、アイヌ語の「ヌ  
プルペッ」という音に漢字をあては  
めたものです。これは、「色のこい  
川」という意味で、温泉から流れ出  
る川の水が、いつも白くにごってい  
たことからつけられた名前だと言わ  
れています。

調べてみると、登別市だけでなく、北海道にはアイヌ語をもとにした地名がたくさんあることがわかります。

また、サハリンや千島列島、東北地方にもアイヌ語がもとになった地名があり、アイヌ語の世界が広がっていたことがわかります。



↑愛隣学校／登別市  
めいじ ほろべつ  
明治21年(1888年)に幌別に  
つくられました。

## アイヌ語で何て言うのかな



アイヌ語の表記について

アイヌ語には「ツ」や「リ」などのように日本語にない発音があります。その場合は小さく書き、読むときは軽く発音します。



## (4) 現代のアイヌ文化

アイヌ民族の文化は、これまでたくさん失われてきました。しかし、1980年代から、失われてきた文化の再生と伝承活動をする人たちが増えました。

登別市では、秋や新年に行われる伝統的な儀式を復活させたり、民族の大切な文化であるアイヌ語やししゅうなどを学ぶ教室が開かれたりしていました。また平成22年（2010年）には、登別市出身でアイヌ文化の物語を記した『アイヌ神謡集』の著者である知里幸恵の博物館が、めいの横山むつみたちの活動により開館しました。

音楽やししゅう、木彫りなどの分野では、伝統的なアイヌ文化を引きつぎながら、その特色を現代的に表現する人たちも出てきています。また、漫画を通じてアイヌ文化に関心をもつ人たちもいます。令和2年（2020年）、白老町にはアイヌ文化復興等のナショナルセンターである民族共生象徴空間「ウポポイ」もできました。

わたしたちがくらすこの地で育まれてきたアイヌ文化は、現在もわたしたちのまわりに息づく大切な文化です。



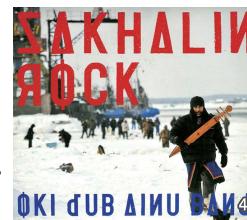
① コタンノミ  
村の祈りの儀式。登別市では秋に行われる。

② 古式舞踊「フンペリムセ」

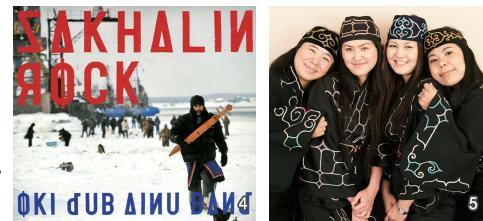
③ 知里幸恵 銀のしづく記念館

④ Oki Dub Ainu Band サハリンアイヌの伝統楽器「トンコリ」奏者のOKI率いるバンド。写真はアルバム「サハリンロック」。

⑤ マレウレウ アイヌ伝統歌「ウボボ」の再生と伝承をテーマに活動するグループ。



写真／1・2：登別アイヌ協会、4・5：CHIKAR STUDIO



## 富岸(トンケシ)の津波の話

昔トンケシに大きなコタン(村)があり、6人のリーダーが住んでいました。

ある時、日高のトゥヌウオウシという人がここを通ったら、キウシトゥの上にウサギが1匹立っていて、沖の方へ両手を突き出して、しきりに何者かをまねきよせるような身ぶりをしていました。

おどろいたトゥヌウオウシは、トンケシのコタンに向かって「津波が来るぞ。早くにげろ！」とさけびました。

しかし、トンケシの6人のリーダーたちは、たまたまお酒を飲んでさわいでいたところで、いっせいに立ち上がると、「へん！津波なぞ来てみろ！おそろしくないぞ！やっつけてやる！」と言いながら刀をぬいて、ふり回しました。

トゥヌウオウシは、あきれてそのまま一目散に虻田(洞爺湖町)のコタンの方へ走り去りました。そのとき彼の背負っていたカバンが一直線になったまま落ちないほど、ものすごい速さだったそうです。

彼が有珠(伊達市)のコタンまで来た時、はるか後ろで津波のおしよせる音がしました。この津波で古いトンケシのコタンはほろびてしまったそうです。

知里真志保・山田秀三『幌別町のアイヌ語地名』より改編

### アイヌ語で話してみよう



1. イランカラッテ  
(こんにちは)
2. エイワンケ ヤ?  
(元気ですか?)
3. ジュース エク?  
(ジュースを飲みますか?)
4. ジュース クヤン  
(ジュースをお飲みください)



1. イランカラッテ  
(こんにちは)
2. クイワンケ ワ  
(元気ですよ)
3. エ ククルスイ  
(はい、飲みたいです)
4. イヤイライケレ  
(ありがとうございます)

## 2. 本州からのい住の歴史

登別市に多くの和人がい住してきたのは明治時代（1868年）以降のことになります。その人たちのい住してきた理由はさまざまでした。

### (1) 開拓の苦労を伝えるもの

幌別地区の中央町にある刈田神社をおとずれると、けいだいに大きな石碑があります。

明治3年（1870年）から4年にかけて、仙台藩（今の宮城県）白石城のとの様だった、片倉小十郎邦憲の長男 景範が、家族や家来約200名をつれて今の登別市にうつり住みました。この石碑は、登別市が今のようにひらかれるもとになった、彼らの開拓の功せきを記念して、大正15年（1926年）に子孫が建てたもので、当時の苦労をわたしたちに伝えてくれています。



④開拓記念碑(刈田神社)

### (2) 開拓使

明治2年（1869年）7月、外国から北海道を守りながら、開拓を進めるために、政府は「開拓使」という役所をつくりました。

はじめは、函館にありましたが、明治4年（1871年）に札幌にうつされました。



⑤開拓使札幌本庁(北海道立文書館)

開拓使は、全国でせん伝して開拓する人を集めたり、開拓にかかるお金をお出ししたり、い住した農民のためにこく物・野菜の種をし給したりしました。

また、アメリカやヨーロッパの進んだ機械を取り入れたり、すぐれたじゅつ者をまねいたりして、ゆたかな北海道をつくろうとしました。

### (3) 片倉家のい住

今の登別市にうつり住んだ片倉景範たちは、明治政府との戦争に負けて、それまで住んでいた土地を失ったこともあり、開拓使と相談し、アイヌ民族の協力も得ながら、新天地で苦労して新しいまちをつくっていきました。

このころの登別市は、うっそうとしたあれ地で、大きな木がしげつており、地面にはクマザサがびっしりとはえていました。土地を切りひらくには、まず雨や風をふせぐ家をつくるなければなりませんでした。今までクマザサをかり、大きなこぎりで木を切りたおし、みんなで力を合わせて共同の家をつくりました。

しかし、かべなどはヨシなどの草でつくられており、きびしい冬の寒さを乗り切るには十分でなく、とても苦労しました。



⑥片倉景光／登別市郷土資料館

また、くわやのこぎりを持って畠をおこすのは大変で、苦労はたえませんでした。

ひとくわひとくわ木の根をほり、少しづつ作物を育てようと、家族全員で朝からばんまで一生けん命畠をつくり、種をまきました。

しかし、この土地に

できした作物がわからないばかりか、きりがかかって気温が低く、作物の育ちもよくありませんでした。せっかく育っても、シカやカラス、野生の馬などに食いあらされてしまうこともあります。そのため、食べ物がなくなり、木の実や野草を食べなければならぬ苦しい生活でした。

開拓使が米やみそを2年間配給するなどしましたが、苦しい生活はあまり変わりませんでした。

## ○白石村などへのい住

片倉家とその家来は、明治3年(1870年)から3回に分けて、今の宮城県白石市から北海道にい住しましたが、最後の1回は登別市ではなく、今の札幌市白石区・手稲区などにい住しました。

こちらは登別市にくらべ、天候にめぐまれた土地でもあったことから、開拓は順調に進められました。

このように歴史的なつながりもあり、平成28年(2016年)11月、登別市と札幌市白石区はこれから先、友好と交流を深めることをちかう宣言をしてています。



①開拓する人々が小屋を建てている様子  
／明治・大正期の北海道(写真編)



②開拓当時の農衣  
片倉景光妻のタケ着用  
／登別市郷土資料館

## (4) 四国からのい住がはじまる

片倉家とその家来のい住の後、北海道へのい住の声が全国各地にかかり、明治14年(1881年)ごろから四国周辺の農民が、まとまって今の大正市にうつり住みました。明治8年(1875年)からのい住者の多い地をみると、香川県からが最も多く、次に、兵庫県淡路島、徳島県となっています。香川県では、登別市にい住することを決めた人たちが、ふるさとの金刀比羅宮にたて1.5m、横2.6mの大きな絵馬(重要文化財)をほう納して、開拓の成功を祈りました。

この人たちは、それまで今の片倉町付近や国道、川沿い(幌別・鶏別地区)で開拓していた人たちと力を合わせて、土地を切りひらく作業を進めました。

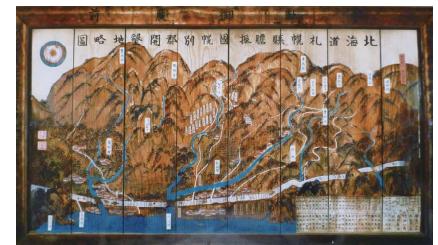
### ○記録されたつらい生活

ふるさとを後にし、四国からい住してきた人々の生活は、明るいものではありませんでした。

い住の世話をしてくれるはずの人にお金をだましとられたり、ようやく登別市に来てあたえられた広い土地も、土の質が悪く畠作に不向きで、新たな土地にかえてもらうよう役所にお願いしなくてはいけなかったりすることもありました。

明治15年(1882年)に香川県からきた官武藤之助という人は、昭和24年(1949年)にその当時をふりかえって『丈草の記』という本にしました。

“(掘立小屋を完成させた)翌日からは天のように高い大木とおいしげるクマザサを相手の開こんである。用意していた開こん用具では、仕事は進まず、それでも種をまく時期をおくらせてはいけないので、けん命に努力して一家6人で1日に2坪(1坪は約3m<sup>2</sup>)か3坪、ひらきや



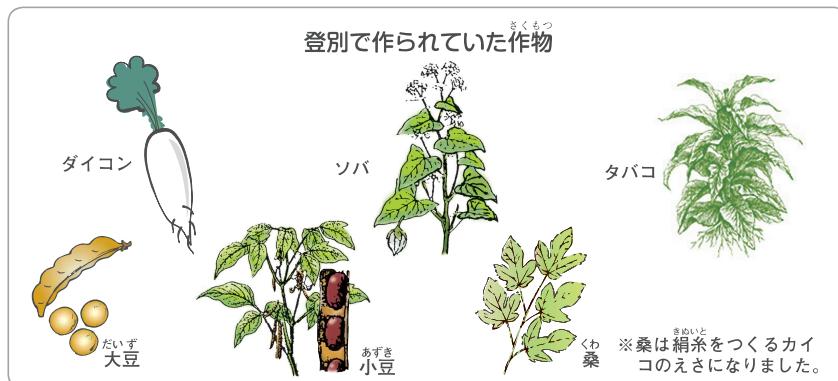
③い住者の子孫によって復元された  
金刀比羅宮ほう納絵馬の写真  
／登別市郷土資料館

すい所で数坪ひらいた所には、その日のうちに種をまく。こうして毎日汗だくになり、作業を続けるのである。…こんな苦労もなんのその、芽を出し花をつけたので、収穫の秋に希望をつなぎ胸をおどらせていたが、北海道の気候風土に慣れない種は、丈はのび、花は開くが実は一つもつかず、わずかにイモを少々とりいれたのみで、収穫はほとんど無いに等しい、悲惨な結果に終わった。…”

これだけではなく、明治16年(1883年)には、トノサマバッタの大発生で畑があらされたこともありました。東の方からとつぜんあらわれたバッタは、空いっぱいに広がって太陽をおおい、大きな音で人びとにきょうふをもたらしました。バッタの大発生は2~3日ですぎさりましたが、たくさんのたまごを産みつけられたうえに、農作物が食い荒らされるなど、大きな灾害がでました。

## (5) 村から町へ

こうして、たくさんの苦労や努力をくり返しながら、まちづくりは進められました。やがて、生活が少しづつ落ち着き、幌別村を中心にはだんだんひらけてきたので、明治13年(1880年)には、五つに分かれている村を三つにまとめ、幌別村、鶴別村、登別村としました。大正8年(1919年)には、3村を一つにして幌別村となり、人口の増加とともに昭和26年(1951年)には、幌別町となりました。さらにその10年後、町名は登別町に改められました。



## 登別市の先人たち



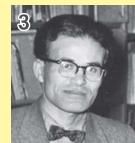
【金成 マツ】

ユカラなどの言葉だけで語りつがれてきた物語を約100冊ものノートにローマ字で記録しました。その功せきがたたえられ、国や登別市から表彰されています。知里幸恵、真志保のおばにあたります。



【知里 幸恵】

アイヌ語を初めて日本語とローマ字で記録し、『アイヌ神謡集』を書きました。語学にすぐれおり、上手な語り部でしたが、19歳の若さで亡くなりました。市内に「知里幸恵 銀のしづく記念館」があります。



【知里 真志保】

知里幸恵の弟です。北海道大学などでアイヌ語を研究し、「分類アイヌ語辞典」など多くの成果を残しました。52歳で亡くなる直前まで研究を続け、生涯をアイヌ語研究に捧げました。



【山田 秀三】

北海道・東北に残されているアイヌ語地名を研究しました。知里真志保とともに仲のよい研究仲間でした。現在も登別市にある北海道曹達株式会社の初代社長でもあります。



【片倉 景光】

父・景範や家来とともに今の宮城県白石市から登別市へい住しました。後に景範は札幌市へうつり住みましたが、景光は残り、家来らの精神的な支えとなりました。明治31年(1898年)に開拓の功せきにより男爵となりました。



【滝本 金藏】

安政5年(1858年)、今の埼玉県から蝦夷地開拓のために、妻とともに北海道へ渡りました。同じ年に現在の登別市にうつって登別温泉の湯守となり、温泉の開発や周辺の道路の整備に力をつくしました。



【日野 久橋】

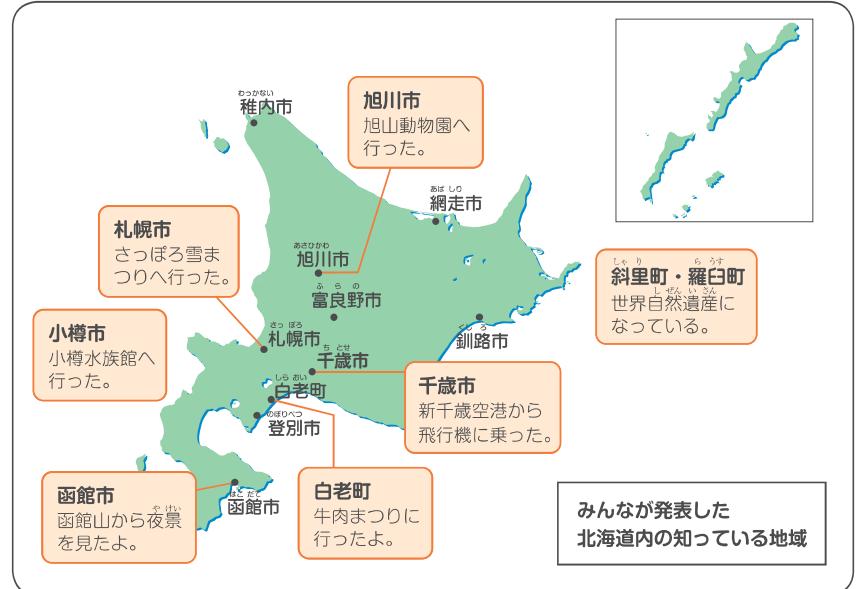
明治32年(1899年)に、今の室蘭市輪西の薬屋とともに共同でカルルス温泉を開業を役所に願い出て、許可を受けます。温泉の開発、カルルス温泉までの道路の整備などに力をつくしました。

写真1・2：NPO法人知里森舎、3～5・7：登別市郷土資料館、6：1985『市史ふるさと登別』

## 10 わたしたちの北海道とまちづくり



- 137 -



わたしたちの住む北海道では、それぞれの地域のとくちょうを生かしたまちづくりをしているのか、くわしく調べてみることにしました。

**それぞれの地域のとくちょうを生かしたまちづくりを調べよう**

- 138 -



↑人でにぎわう白老牛肉まつり／白老町観光協会

## 1. 豊かな食材を生かしたまちづくり (1) 自然のめぐみが多い白老町



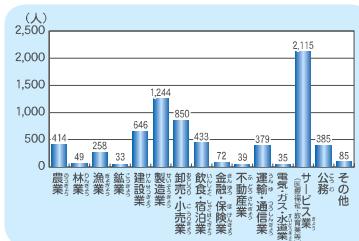
わたしたちは、まず白老町がどのようなところにあるのか、地図や写真で調べてみるとことになりました。そして、白老町の特産品や名所を調べました。

一般社団法人白老観光協会 <https://shiraoi.net/>



↑白老町の特産品／白老町観光協会

白老町では漁業や農業、観光にかかる仕事がさかんなのではないかと予想し、たしかめてみました。



↑白老町の人たちの仕事(平成27年)

資料：国勢調査

また、交通の便のよさと山から流れる豊かな水を使って、紙を作る大きな工場もあります。

さらに、白老町に住んでいる人たちが、まちづくりについて、どのように考えているのか、町役場で教えてもらいました。



↑製紙工場(日本製紙北海道工場白老事業所)

### 町役場の人の話



白老町は、豊かな自然、多様な産業、個性豊かな文化など、白老町の特性を生かしてまちづくりを進めています。町民一人一人が生き生きとくらすことのできる「元気まちづくり」では、みんなで力を合わせて元気なまちをつくろうと行政と町民とが一体となって様々な町民活動を行っています。  
また、「歴史と文化のまち」として、アイヌ文化の魅力にふれることができる施設、ウポポイ（民族共生象徴空間）が完成しました。

白老町は、豊かな自然に囲まれた地域にあり、地元で取れた豊富な食材などの資源を生かしたまちづくりを進めています。



↑ポロト湖



↑虎杖浜 かに・たらこ・温泉三大まつり  
／白老町観光協会



↑白老バーガー・  
ベーグル  
／白老町観光協会



↑スイーツ  
／白老町観光協会



①旧函館郵便局(現在は、はこだて明治館)

## 2. 街並みを生かしたまちづくり (1) 観光資源の豊かな函館市

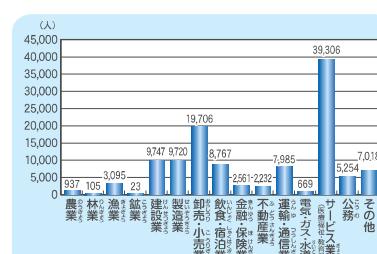
北海道の南西に、函館市があります。江戸時代から本州との関係が深い地域で、早くから港がさかえていました。

海に囲まれていることから漁業がさかんで、夏のイカ漁の時には、漁をする漁船のいさり火がとてもきれいでです。

平成16年12月に函館市と戸井町、恵山町、榎法華村、南茅部町が合併して新しい「函館市」が誕生しました。



①函館朝市



①函館市の人たちの仕事(平成27年)

資料提供：函館市

函館市には、歴史のある建物がたくさんあります。明治時代に倉庫として利用された赤レンガ倉庫群、旧函館区公会堂、ハリストス正教会などが有名です。その多くは、函館山につながる坂道にあります。

函館山の夜景は美しく、修学旅行生や多くの観光客がおとずれます。

函館市では、このような街並みを大切にし、豊富な観光資源を生かしたまちづくりを進めています。

平成28年(2016年)3月には、新函館北斗駅まで北海道新幹線が開業しました。



①赤レンガ倉庫群

明治末期に倉庫として利用された金森倉庫は、現在ショッピング街として再生している。



①旧函館区公会堂

1910年に建てられた明治を代表する木造洋風建築物



①ハリストス正教会

ロシア領事館付聖堂として1859年に建てられたのがはじまり。国指定重要文化財



①五稜郭公園

江戸幕府が北方警備のために建てた城跡



①函館山から見た夜景

標高334メートルの函館山から見た夜景。左に見えるのは函館港。右には太平洋が広がっている。



①函館市の観光客数(平成30年度)

資料提供：函館市

### 3. 國際交流がさかんなまちづくり

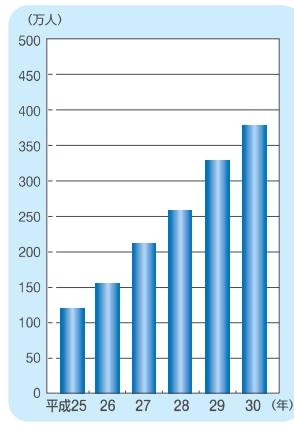
#### (1) たくさんの人人が集まる札幌市

これは、札幌芸術の森野外ステージで行われたPMFピクニックコンサートの様子です。このコンサートは、外国からも多くの演奏家が参加します。

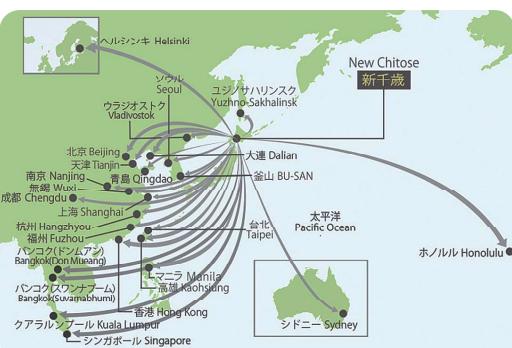
札幌市には多くの観光客が訪れます。外国人の人たちは、主に北海道の玄関口である千歳市の新千歳空港を利用しています。



① PMFピクニックコンサート／©PMF組織委員会



① 新千歳空港の航空旅客数のうつりかわり



① 国際航空路線(2020年2月現在)／新千歳空港ターミナルビルHP



① 新千歳空港／千歳市提供

札幌市には大通公園を会場としたイベントが季節ごとがあり、とくに、昭和25年にはじまった「さっぽろ雪まつり」は、世界的に知られる冬の一大イベントで、多くの人にぎわいます。

札幌市の観光案内パンフレットは、日本語のほかに英語・中国語・韓国語・タイ語で書かれたものもあります。

また、札幌市では、国際的な音楽祭や芸術祭だけでなく、国際的な学術会議も行われます。

#### (2) 世界とつながる札幌市

札幌市は、五つの外国のまちと姉妹・友好都市の関係を結んで交流しています。市役所で国際交流の取組について、話を聞きました。



##### 市役所の人の話

札幌市の国際交流では、おたがいの文化などを知る活動を行っています。ドイツのミュンヘン市との交流は、1972年の冬季オリンピックがきっかけでした。どちらの市も、「ビールのまち」として共通点もあります。最近では、冬の大通公園でミュンヘンクリスマス市が行われています。

しんきょう

瀋陽市(中国)

1980年11月に提携。遼寧省の省都で、7200年前には定住集落があったとされ、長い歴史を持つ古都。瀋陽故宮は世界遺産に登録されています。



① 瀋陽故宮

ノボシルスク市(ロシア)

1990年6月に提携。ロシア第3の都市で、世界でも人口が急増した街と言われています。音楽やバレエなど優れた芸術文化を誇ります。



① 国立オペラ・バレエ劇場

ミュンヘン市(ドイツ)

1972年8月に提携。バイエルン州の州都で、ビールの街として有名。毎年9月から10月にかけて行われるオクトーバーフェストでは連日連夜ビールを飲み、歌い踊り明かします。



① 新市庁舎

##### 札幌市の姉妹・友好都市紹介

###### ポートランド市(アメリカ)

1959年11月に提携。オレゴン州最大の都市で、環境に優しい都市として知られています。毎年6月に開かれる「ローズフェスティバル」が有名です。



① ローズフェスティバル

###### ミュンヘン市(ドイツ)

1972年8月に提携。バイエルン州の州都で、ビールの街として有名。毎年9月から10月にかけて行われるオクトーバーフェストでは連日連夜ビールを飲み、歌い踊り明かします。



資料提供：公益財団法人 札幌国際プラザ

札幌市パンフレット：世界の人々をあたかくお迎えしよう！

[http://www.city.sapporo.jp/koho/pamphlet/documents/omotenashimin\\_all.pdf](http://www.city.sapporo.jp/koho/pamphlet/documents/omotenashimin_all.pdf)



① 札幌コンベンションセンター  
2003年にオープンした、会議や展示会を開くことのできるしせつです。大ホールは2500人を収容できます。

## 国際交流

1990年(平成2年)「登別マリンパーク」がオープンしました。

この施設内の「ニクス城」は、デンマークのウイスリング市にあるイエスコウ城をモデルにして建てられました。

オープニングセレモニーのときには、リング市の合唱団が招かれ、市民との交流も行われました。

また、市民の代表がリング市やウイスリング市を訪問し交流を深め、また幌別中学校とリング市のノーアエア校とが姉妹校の約束を結びました。こうしたつながりを大切にし、今後も交流を深めようということで、市内の中学生がリング市でホームステイや交流を進めたり、デンマークの留学生を受け入れたり、中学校では英語の先生を招いたりしています。  
※ウイスリング市、リング市は、近隣の自治体と合併し、2007年(平成19年)にファーボー・ミッドフュン市になりました。



①デンマークの位置



②ファーボー・ミッドフュン市の街並み

### ファーボー・ミッドフュン市(デンマーク)

2007年(平成19年)に友好都市提携。  
農業、漁業がさかんな都市ですが、人気の観光地でもあります。  
代表的な観光地は登別市の友好の架け橋となったイエスコウ城です。



③中学生デンマーク訪問の様子

登別市の友好都市についてみてみよう! <http://www.city.noboribetsu.lg.jp>



## 白石市と登別市

### 姉妹都市との交流



1870年(明治3年)、登別の地に、片倉氏主従が、現在の白石市より移住し開拓を始めました。

1981年(昭和56年)、白石城をモデルにした「登別市郷土資料館」が開館しました。市民の間に、自分たちのまちの歴史やふるさとを見直そうという動きが出てきました。その後、先人のふるさとである白石市の人との交流が盛んになり、1983年(昭和58年)9月、姉妹都市を結ぶ調印式が、白石市で行われました。「きずなをいっそう強くして、両市の交流を深めよう」ということで、毎年のように観光と物産展や児童生徒の作品展、少年スポーツ交流会、ふるさと豆記者訪問などが行われています。

2011年(平成23年)3月11日に東日本大震災が起き、東北地方をはじめとして津波による大きな被害を受けました。内陸にある白石市は津波による被害はなかったのですが、家や学校がこわれるなどの大きな被害があったため、登別市民から物資やお金を送り支援しました。

2019年(令和元年)9月白石市は台風19号により大きな被害を受けました。登別市からは職員が復旧作業の支援のため派遣されました。豆記者訪問でお世話になった学校からは義援金や励ましのお手紙を送りました。白石の学校からはお礼の手紙も送られてきました。

## 宮城県白石市

・蔵王の山々と阿武隈高地にかこまれた城下町。

・こけし、和紙などの産地として有名。



④白石城



⑤白石市のこけし等



⑥登別市はどこかな?



えびな  
海老名市と登別市  
しまいとし  
姉妹都市交流



かなかがわ(海老名市提供)  
神奈川県海老名市との交流は、両市の姉妹都市である白石市の紹介で  
2010年（平成21年）11月より始まりました。

登別市と白石市、海老名市と白石市は、それぞれの市民同士の交流が  
進んでいるので、今後は「3市間で家族、姉妹、兄弟、友達のような関  
係を築こう」と2011年（平成23年）4月に「トライアングル交流」  
(3市間での交流)をすることになりました。

そして、これまで白石市との間で行われていた経済交流、文化・スボ  
ーツ交流を海老名市も含めた3市で行うようになり、交流の幅が広がり  
ました。

また、2012年（平成24年）11月に起こった登別市の「大規模停  
電」時には、白石市と海老名市からたくさんの救援物資が届きました。

トライアングル交流で深まったきずなをより強いものにするため  
2015年（平成27年）5月、姉妹都市を結ぶ調印式が、幌別中学校で行  
われました。

この調印式は両市の未来を担う中学生の前で行われ、交流のきっかけ  
をつくった白石市の関係者も参加しました。

かながわえびな  
**神奈川県海老名市**

- ・神奈川県のほぼ中央に位置し、都心のベッドタウンとして急速に発展。田園地帯が点在する自然と調和した街並みが印象的な都市。
- ・いちごの産地として有名。

↑名産のいちご  
(海老名市提供)

↑海老名市の風景  
(海老名市提供)



①調印式の様子

左から  
海老名市長、白石市長、登別市長

縄文	続縄文	擦文	室町	江戸	明治
アイヌ文化期					
一萬年前	二千五百年前	千四百年前	八百年前 八百五七年 八百六九年 八百六年 八百〇〇年 (長祿元年)	一八五八年 一八〇〇五年 (安政二年) 一八〇〇年 (寛政十二年) 一六六〇年 (寛文三年) 一六六〇年 (慶安三年)	一八六八年 (明治元年)
おもな流れ	本州から鉄を手に入れる。	本州から漆の器や刀などの道具を手に入れる。	岡田半兵衛、登別温泉に宿泊所2棟を建設する。 岡田半兵衛、登別温泉に宿泊所2棟を建設する。 岡田半兵衛、登別温泉に宿泊所2棟を建設する。	岡田半兵衛、登別温泉に宿泊所2棟を建設する。 岡田半兵衛、登別温泉に宿泊所2棟を建設する。 岡田半兵衛、登別温泉に宿泊所2棟を建設する。	新政府軍と幕府との間に戦いがおこる。 (戊辰戦争)。
おもな流れ	サハリンや千島列島まで交易をする。	コシヤマインの戦い。 シャクシャインの戦い。	伊能忠敬、幌別を測量する。 僧侶の円空が「バラビツ」の名で世界地図にのる。	片倉小十郎景範らが白石(宮城県白石市)から幌別に移住する。 開拓使がおかれ、蝦夷地から「北海道」になる。	☆富岸小学校が開校する。 ☆登別小学校が開校する。 鉄道室蘭線開通。幌別停車場・登別停車場開設される。 トノサマバツの大群に烟があらされる。 この頃から香川県や兵庫県から移住者が集団でくる。 ☆幌別小学校が開校する。

昭和	平成
一九七七年 （二年）	二〇一八年 （三〇年）
一九七八年 （三年）	二〇一五年 （二九年）
一九八二年 （四年）	二〇二二年 （二四年）
一九八六年 （五年）	二〇二一年 （二三年）
一九八四年 （六年）	二〇一〇年 （一二〇年）
一九八六年 （五年）	二〇〇八年 （二〇〇年）
一九九〇年 （平成元年）	二〇〇七年 （十九年）
一九九四年 （二年）	二〇〇四年 （十六年）
一九九〇年 （八年）	二〇〇三年 （十五年）
一九九八年 （九年）	二〇〇二年 （十四年）
一九九六年 （八年）	二〇〇〇年 （十二年）
一九九六年 （八年）	一九九八年 （十年）
新登別大橋、登別・室蘭インター、エンジ開通する。 登別化石林発見される。	登別温泉百五十周年記念事業開催。 北海道登別明日中等教育（カント・レラ）ができる。 登別市市制施行四十周年を迎える。
集中豪雨により多大な被害を受ける。 白石市（宮城県）と姉妹都市となる。市民会館ができる。 登別市下水道事業始まる。	知里幸恵 銀のしづく記念館ができる。 国会で「アイヌ民族を先住民族としてすることを求める決議」が決定される。 のぼりべつ文化交流教育（カント・レラ）ができる。 幸町に新市民ブル（らくあ）ができる。 登別市葬祭場ができる。
登別市姉妹都市提携二十周年。 登別温泉ふれあいセンター（遊鬼）ができる。 ネイチャーセンター（ふれすと鉢山）ができる。 クリンクルセンターが運転を開始する。 岡志別の森運動公園テニスコート・パークゴルフ場ができる。 文化伝承館ができる。 鉄南ふれあいセンターに知里真志保資料室ができる。 総合福祉センター（しんた21）ができる。 一部地域で下水道を使い始める。 はまなす国体バドミントン競技会開かれる。	胆振東部地震発生。 登別市民憲章制定五十周年記念式典開催。 驚別小学校新校舎落成記念式典開催。 登別市観光協会が名前を「一般社団法人登別国際コンベンション協会」に変更する。 海老名市（神奈川県）と姉妹都市になる。 雪害により市内広域の停電が発生する。※鉄塔の倒壊 東日本大震災が発生する。
☆青葉小学校が開校する。	登別市市制施行五十周年を迎える。 胆振東部地震発生。 北海道と命名され、百五十年となる。

## あとがき

『古い歴史と、美しい自然に恵まれた、わたしたちの登別』

この社会科副読本「のぼりべつ」で、登別市の良さや、まちを支えている人たちについて学習し、まちの皆さんへの思いや願いを感じながら学習を深めてください。

令和2年8月1日、わたしたちの住む「登別市」は、町から市になって50年目を迎えます。元号は昭和から平成、そして令和が始まりました。豊かで住みよいまちにするために、たくさんの人々がいろいろな工夫や努力をし、力を合わせて生活してきました。

登別が、いつまでも輝き続ける魅力的なまちになるよう、自分たちの考えを出し合い、将来の夢を話し合ってみましょう。

社会科の学習では、「なぜ」「どうして」と一人一人が課題をもち、見学や体験学習を通して、友だちと力を合わせて、いっしょに考えながら学びを深めていくことが大切です。

みなさんが、学んだことをもとにして、考える力を身につけ、大人になってからも『ふるさと登別』への思いを持ち続けながら、社会に役立つ人になることを願っています。

最後に、この本の編集にあたられた先生方、取材にご協力いただいた関係機関、多くの関係者の皆様に感謝し、結びといたします。

登別市社会科副読本編集委員会

委員長 中 村 完

(登別市立鷺別小学校長)



登別市市制施行50周年記念ロゴマーク



スタディーちゃん